

現代朝鮮語のヴォイス接尾辞を取り得る動詞について
—自動詞から他動詞, 他動詞から自動詞に派生する動詞のペアを中心に—

崔昌玉

神田外語大学非常勤講師

1. はじめに

ここでは, まずヴォイスを受動態に限定し, 議論を進めることにする. 受動態を取り扱った先行研究の中には, 能動文とそれに対応する受動文を形態論, 統辞論, 意味論的観点から考察しているものが多い. ただし, それらを規定する折, 注意しなければいけないのは, これらの観点は個々に独立して存在するのではなく, 各々が相関関係を持ち存在しているということである. 例えば, 以下の現代朝鮮語の能動文と受動文によってこの事実を確認することができる¹⁾.

- (1) 경찰관이 범인을 쫓는다(警察官が犯人を追う). (能動文)【作例】
- (2) 범인이 경찰관에게 쫓긴다(犯人が警察官に追われる). (受動文)【作例】

形態論的には, 例文(1)の能動形‘쫓다’は他動を意味するが, その動詞語幹に受動を表す‘-기-’という接尾辞がつくことによって例文(2)の受身形‘쫓기다’が成立している²⁾. 統辞論的には, 例文(1)の主格である 경찰관(警察官)が例文(2)では与格に降格し, 例文(1)の対格である 범인(犯人)が例文(2)では主格に昇格している. 意味論的には, 動作の主体である警察官から動作の客体である犯人への追うという動作の移行は例文(1)と例文(2)において何ら変わらない. つまり例文(1)と例文(2)は動作の主体と動作の客体のうち, どちらの視点から述べているかという点で異なるものの, 動作の主体である警察官が動作の客体である犯人を追うという言語外的事実は同じなのである. 例文(1)と例文(2)の考察から能動と受動が単に能動形や受身形という形態論的關係に留まらず, 能動文と受動文という統辞論的關係, 主体と客体という意味論的關係にまで影響を及ぼしていることがわかる. このような考察は現代朝鮮語のヴォイスを取り扱った先行研究において何度も行われてきたことである.

ところで, 現代朝鮮語のヴォイス研究において, その研究が始まった歴史は古くないにしても, それを研究した論著と論文の数は他の分野の研究と比較しても遜色ないほど多いと言える. 1980年代以降に発表された先行研究のうち, 代表的なものとして, 菅野裕臣(1982), Klaiman(1984), 菅野裕臣(1987), Klaiman(1991), 권재일(1992), 서정수(1996), 우인혜(1997),

이상억(1999), 崔昌玉(2001a, b), 김성주(2003), 기타무라(2004), 이정택(2004)等々がある. また, 서울大學校大學院國語研究會編(1990:493-510), 서정수(1996), 김홍수(1998)では, 現代朝鮮語の受動態や使役態に関する先行研究を網羅的に紹介している. 更に, 임홍빈(1997:356-366)では, 北朝鮮のヴォイス研究を取り扱っている.

また現代英語や現代日本語の受身形や使役形を作る方法に比べて, 現代朝鮮語においてある動詞の受身形や使役形を作る方法には様々なものがあることが先行研究において指摘されている. 本稿では, 特に現代朝鮮語のヴォイスについて考察した先行研究として菅野裕臣(1982)を中心に概観することにする³⁾.

菅野裕臣(1982:280-291)によれば, 現代朝鮮語において動詞の受身形や使役形を作る方法には以下のものがあるとされている.

- 1) ヴォイス接尾辞⁴⁾・・・基本語幹⁵⁾にヴォイス接尾辞をつける方法
- 2) 擬似接尾辞⁶⁾・・・基本語幹に-하다, -시키다, -되다, -받다, -당하다をつける方法
- 3) 分析的な形⁷⁾・・・ i) 第I語基⁸⁾+게 하다, ii) 第III語基+지다という方法

これ以降, 本稿で取り扱うことになる 1)のヴォイス接尾辞について, 菅野裕臣(1982:280)では, ①その接尾辞を取り得る動詞が限定されており, ②ヴォイス接尾辞により派生した動詞は受身形や使役形だけでなく, 自動詞や他動詞にもなり得るという2つの特徴を指摘している⁹⁾. それ故, 現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を考察する時は, 現代英語や現代日本語のヴォイスを考察する時とは異なり, 受身や使役の意味だけでなく, 自動や他動の意味も取り扱わなければならないことがわかる.

次に, 本稿では, 菅野裕臣他編(1991²⁾)の記述に基づき, 先のヴォイス接尾辞の特徴を確認することにする. 菅野裕臣他編(1991²⁾)においてヴォイス接尾辞を取り得る動詞は 171 個しかない¹⁰⁾. ヴォイス接尾辞がつき, その動詞が派性する方向によって, これらの動詞を分類すると次のようになる. ただし, 次の表における全体の数に対して, その類が占める割合は小数点以下二桁目から四捨五入している.

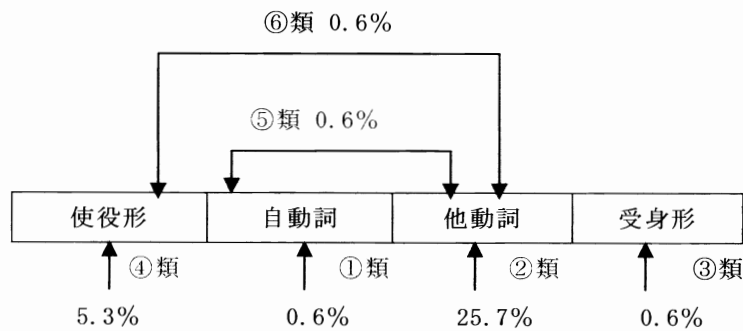
	ヴォイス接尾辞のついていない形の意味	ヴォイス接尾辞のついてある形の意味	実際の数	全体の数に対してその類が占める割合
①類	自動詞	自動詞	1	0.6%
②類	自動詞	他動詞	44	25.7%
③類	自動詞	受身形	1	0.6%

④類	自動詞	使役形	9	5.3%
⑤類	自動詞	自動詞, 他動詞	1	0.6%
⑥類	自動詞	他動詞, 使役形	1	0.6%
自動詞から派生する動詞の合計と割合			57	33.4%
⑦類	他動詞	自動詞	24	14.0%
⑧類	他動詞	他動詞	4	2.3%
⑨類	他動詞	受身形	48	28.0%
⑩類	他動詞	使役形	9	5.3%
⑪類	他動詞	自動詞, 使役形	1	0.6%
⑫類	他動詞	受身形, 使役形	20	11.7%
⑬類	他動詞	自動詞, 受身形	7	4.1%
⑭類	他動詞	他動詞, 受身形, 使役形	1	0.6%
他動詞から派生する動詞の合計と割合			114	66.6%
総計			171	100%

表 1. 菅野裕臣他編(1991²)におけるヴォイス接尾辞を取り得る動詞の分類

以下の図は自動詞, 他動詞別にヴォイス接尾辞がついた動詞が自動詞, 他動詞, 受身形, 使役形のうち, どれに派生するかを図で示したものである.

<自動詞>



<他動詞>

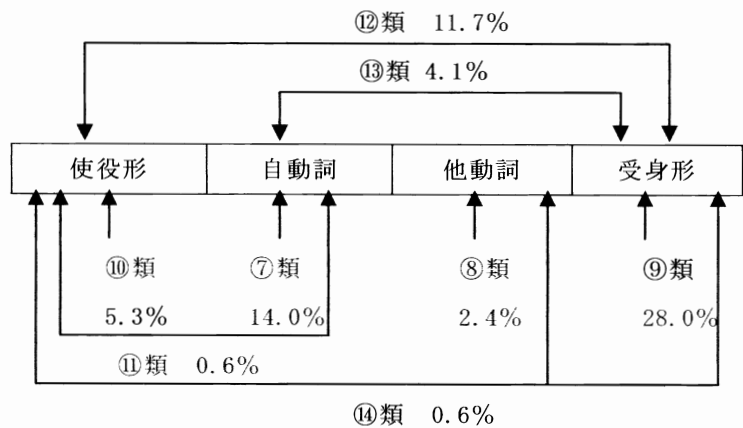


図 1-2. ヴォイス接尾辞を取り得る動詞の派生の方向

先の表と図から自動詞がヴォイス接尾辞を伴って派生する場合には他動詞が多く, 他動詞がヴォイス接尾辞を伴って派生する場合には自動詞と受身形が多いことがわかる. また以上の表と図から現代朝鮮語におけるヴォイス接尾辞による動詞の派生は現代日本語や現代英語とはその接尾辞がつく動詞が制限され(非生産的), 派生の方向が一定でないという点で異なっていることがわかる.

先の形態論的な指摘だけでなく, 菅野裕臣(1982:285-289)では, 現代朝鮮語の受動態を統辞論的にも考察し, それらの例文として次のものをあげている. 菅野裕臣(1982:285-287)によれば, (3a)は主語+直接補語+述語(基本態他動詞), (4a)は主語+間接補語+直接補語+述語, (5a)は主語+Aの+Bを+述語(BはAの一部であり, 通常Aは生物)の文の例で, それぞれのbの例文は受動文であるとしている¹¹⁾(波線と下線は本論文でつけたものである).

- (3) a. 포수가 범을 잡았다.
 (獵師が虎をつかまえた.)
 b. 범이 포수에게 잡혔다/잡혀졌다/잡아졌다.
 (虎が獵師につかまえられた.)
- (4) a. 나는 그에게 귀국을 명령하였다.
 (私は彼に帰国を命令した.)
 b. 그는 나에게서 귀국명령을 받았다.
 (彼は私から帰国を命令された.)
- (5) a. 나는 그의 손을 잡았다.
 (私は彼の手をつかんだ.)
 b. 그는 나에게 손을 잡혔다.
 (彼は私に手をつかまれた.)

先の菅野裕臣(1982)の考察結果と菅野裕臣他編(1991²⁾の記述から現代朝鮮語におけるヴォイス接尾辞の特徴はそれを取り得る動詞が制限され, その接尾辞がついて, 派生する動詞の意味が一定ではないという形態論的特徴の他に, ヴォイス接尾辞を伴い他動詞が受身形になる場合, 能動文における直接補語が受動文における主語になったり, 直接補語の一部が主語になったりする統辞論的特徴が導き出される(例文(3b)の主語は例文(3a)の直接補語であり, 例文(5b)の主語の位置に例文(5a)の直接補語그의 손(彼の手)の一部である그(彼)だけが主語の位置に昇格している).

以上の考察を踏まえて, 本稿では, 先に分類した動詞のペアのうち, ヴォイス接尾辞を伴い, 自動詞から他動詞に派生する②類とヴォイス接尾辞を伴い, 他動詞から自動詞に派生する⑦類を考察することにする. これらの動詞

のペアを取り扱う理由は次の3つの理由からである。

- ① 自動詞から派生する動詞ペアのうちで②類つまり他動詞に派生する動詞ペアが最も数が多い(25.7%)。一方, 他動詞から派生する動詞ペアのうちで⑦類つまり自動詞に派生する動詞のペアは2番目に多い(14.0%)。ヴォイス接尾辞の意味と機能を明らかにするためには, ①類から⑭類の動詞のペアを全て考察しなければならない。しかしながら, 本稿では, 紙幅の都合上, 全ての動詞のペアを考察することができないので, 全体の動詞ペアのうち39.7%を占める②類と⑦類の動詞ペアだけを考察するのである。
- ② 表1からもわかるように, どの動詞のペアも自動詞あるいは他動詞から派生しており, これらの意味を規定して初めて, 他の類を含めた現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を記述できると考えるからである。
- ③ ②類と⑦類は形態論的に相反する動詞のペアである。つまり, ②類は動詞の無標形が自動詞で有標形が他動詞であるのに対し, ⑦類は動詞の無標形が他動詞で有標形が自動詞である。これら2つの動詞のペアを比較することで全部ではないが, ヴォイス接尾辞の意味と機能の一部分をとらえることができると考えるからである。

2. 本稿で使用する方法論

先行研究において現代朝鮮語のヴォイスを形態論, 統辞論, 意味論的観点から頻繁に考察されていたことは先に言及した通りである。本稿では, それらの観点だけでなく, 1)動作の主体や動作の客体が生き物, 非生き物のうち, どちらを表しているかという観点, 2)それぞれに対応する名詞は何かという観点も付け加え, ヴォイス接尾辞による動詞のペアを考察することにする。これらの観点を付け加えるのは, Klaiman(1991:171-175)の方法論を取り入れ, ヴォイス接尾辞を取り得る動詞のペアを考察した浜之上幸・朴敬玉・崔昌玉(2000:451-465), 崔昌玉(2001a)において, ある一定の成果が出ているからである。

さてKlaiman(1991:171-175)の方法論とは, どんなものだろうか。ここでは, その方法論について概観することにしよう。まず, Klaiman(1991)では, 意味論的にヴォイスという文法範疇を3つのタイプに分けている。そのヴォイスという文法範疇における3つのタイプには, 動詞の語彙的意味論(lexical semantics of verbs)によって主にヴォイスが決定される能動(active)や中動(middle)を含む基本ヴォイスタイプ(basic voice type), 意味論的役割と文法関係の間の再分布(remapping)によってヴォイスが指示される受動(passive)や反受動(antipassive)を含む派生ヴォイスタイプ

(derived voice type), 存在論的卓立性(ontological salience)や情報卓立性(information salience)によってヴォイスが決定される語用論的ヴォイスタイプ(pragmatic voice type)があるとしている。

また, Klaiman(1991:171-175)において世界の様々な言語と共に現代朝鮮語の考察も行なわれており, 現代朝鮮語が語用論的ヴォイスタイプのうちの逆行ヴォイス(inverse voice)に分類されている。ここでいう逆行ヴォイスとは文において示された動作が存在論的に低い卓立性のある関与者(participant)から存在論的に高い卓立性のある関与者に進む時, 動詞が動詞の語根の特別なマーキングを通して文法的に示される方法によって明示されるものである。

Klaiman(1991:120)は, 存在論的卓立性の尺度として次のような図を示している¹²⁾。

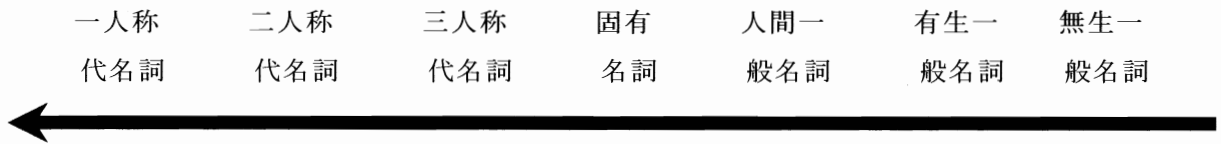


図 3. 存在論的卓立性の尺度

つまり, 上の図によれば, 一人称代名詞が存在論的に最も高い卓立性を持ち, 無生一般名詞が存在論的に最も低い卓立性を持つということになる。

次に, Klaiman(1991:171-175)における現代朝鮮語の考察の概観に移ることとする¹³⁾。Klaiman(1991:173)における現代朝鮮語の例文を示すと, 以下のようなになる(波線と下線は本論文でつけたものである)。

- (6) a. 남자가 공을 쫓고 있어요.
(男がボールを追っています。)
- b. *공이 남자에게 쫓기고 있어요.
(ボールが男に追われています。)
- (7) a. 그 택시가 저 차를 쫓고 있어요.
(そのタクシーがあの車を追っています。)
- b. 저 차가 그 택시에 쫓기고 있어요.
(あの車がそのタクシーに追われています。)
- (8) a. *시간이 나를 쫓고 있어요.
(時間が私を追っています。)
- b. 나는 시간에 쫓기고 있어요.
(私は時間に追われています。)

本稿では, (6a-b), (7a-b), (8a-b)を分析するために, Klaiman(1991:173)

で使用された術語とは異なるが¹⁴⁾, 無標(unmarked)と有標(marked)¹⁵⁾, 主体(source)と客体(undergoer)¹⁶⁾そして無生(inanimate)と有生(animate)¹⁷⁾という術語を導入することにする. これに従えば, (6a)の例文では, 쫓다(追う)という無標形式の動詞で, 主体가남자(男)という有情名詞, 客体が공(ボール)という無情名詞ということになる. 一方, (6b)の例文では, 쫓기다(追われる)という有標形式の動詞で, 主体가남자(男)という有情名詞, 客체가공(ボール)という無情名詞ということになり, これは文法的な文として認められない.

(6a-b)の例文の分析を踏まえて, (7a-b)と(8a-b)も同じ方法によって分析し, 表に示すと次のようになる.

	動詞の形式	主体	客体	文法的か非文法的か
(6a)	無標	남자, 有情名詞	공, 無情名詞	文法的
(6b)	有標	남자, 有情名詞	공, 無情名詞	非文法的
(7a)	無標	택시, 無情名詞	차, 無情名詞	文法的
(7b)	有標	택시, 無情名詞	차, 無情名詞	文法的
(8a)	無標	시간, 無情名詞	나, 有情名詞	非文法的
(8b)	有標	시간, 無情名詞	나, 有情名詞	文法的

表 2. 例文(6a-b), (7a-b), (8a-b)の考察

つまり, Klaiman(1984)における 쫓다(追う), 쫓기다(追われる)の考察と, 能動文である ‘경찰관이 범인을 쫓는다(警察官が犯人を追う).’ とそれに対応する受動文である現代朝鮮語の ‘범인이 경찰관에게 쫓긴다(犯人が警察官に追われる).’ が成り立つということを踏まえれば, 主体と客体が共に有情名詞あるいは無情名詞であれば, 能動文も受動文も文法的だとされるものの, 主体が有情名詞, 客体が無情名詞の場合は, 受動文は非文法的とされ, 主体が無情名詞, 客体が有情名詞の場合は, 能動文が非文法的であると言える. このことから, 現代朝鮮語におけるヴォイス接尾辞による動詞の派生によって, たとえ形態論的に対応する動詞があったとしても, 必ずしも能動文とそれに対応する受動文あるいは受動文とそれに対応する能動文があるとは限らないことがわかる.

この事実を踏まえて, 崔昌玉(2001a)では, 先に示したヴォイス接尾辞を伴い他動詞から受身形に派生する⑨類の無標動詞と⑫類の無標動詞を動作の客体が動作の主体に比べ, 有生性が高いか低いかにという観点から7つのグループに分類し, そのうちの11個の動詞のペアにおける受動文の現れ方を考察した結果, Klaiman(1991:171-175)の考察とほぼ一致することを立証している. ここでほぼ一致と言ったのは, 1)団体名詞¹⁸⁾が無情名詞とい

うよりは有情名詞としてその動作に関与している例文が多いこと, 動詞のペア¹⁹⁾によっては 2) Klaiman(1991:173) の 쫓다(追う), 쫓기다(追われる) の考察で指摘された動作の主体が有情名詞で動作の客体が無情名詞の受動文が現れること, 3) 有標形を含む文には動作の主体が特定できない事物の属性や地理的状況を表す受動文というよりも, 自動詞文に近い文が現れたりすることがあったからである。

以上のことから現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生は動作の主体や動作の客体の有生性がある程度関与しているのではないかと考えることができる。ただし, Klaiman(1991:171-175) に基づく方法論によって証明されたことは, 存在論的卓立性が高い動作の主体から存在論的卓立性が低い動作の客体に向かう一連の動作の流れが反転する時, その動詞の語幹にそれを示す標示がつくというものであり, その議論の対象は他動と受動であった。本稿で考察する対象はあくまでも自動と他動であるので, 動作の主体や動作の客体が生き物か非生き物かという観点からそれらを考察すると, Klaiman(1991) とは異なる考察結果が出るかもしれない。

更に, 本稿では, 動作の主体と動作の客体の有生性だけでなく, それぞれに対応する名詞にも着目して, 現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を考えていきたい。というのは, 菅野裕臣(1995:242) において指摘されたように, 現代朝鮮語の名詞が格助詞という形態論的特徴によって有情名詞と無情名詞に分類することができるからである。ここでは, ほぼ同様な観点から名詞の分類を試みている 연세대학교 언어정보개발연구원 편(1998) を概観することにする。

연세대학교 언어정보개발연구원 편(1998:9-16) の名詞の規定を列挙すると次のようになる(名詞の規定の順番は原書に従っている)。

具体名詞 … ‘人, リンゴ, 本’ 等のように, 触れたり, 見ることができる具体的な対象物を表す名詞。

団体名詞 … ‘学校, 会社, 国家’ のように, 団体を表す名詞。

無情名詞 … ‘木, 乳酸菌, 岩’ 等のように, 植物や微生物, または無生物を表す名詞。無情名詞は有情名詞と異なり, 助詞 에게 の代わりに 에가 付く。

人名詞 … ‘学生, 先生, 人名’ 等のような, 人を表す名詞。これと共に, 人名詞と人の集団で成された団体名詞を格の枠組みの参考情報に同時に表示しなければならない場合は, 人名詞として統一し, 表示した。

有情名詞 … ‘学生, 牛’ 等のように, 人や動物を表す名詞。有情名詞は無情名詞と異なり, 助詞 에가 付かず, 에게가 付く。

場所名詞 … ‘ソウル, 学校, 部屋’ のような, 場所を表す名詞。主に助詞 에, 에서 と結合し得る名詞を言う。

抽象名詞 … ‘愛, 国家, 考え’ のように, 具体的な物理的対象物がない抽象的な

概念を表す名詞.

しかしながら, 無情名詞, 有情名詞, そして場所名詞は他の名詞と異なる形態論的な指標がある規定であるのに対し, 具体名詞, 団体名詞, 人名詞, そして抽象名詞は形態論的な指標がない単なる意味論的规定である. つまり, 연세대학교 언어정보개발연구원 편 (1998:9-13)における名詞の規定は, 形態と意味が混在する極めて曖昧な規定と言える. 例えば, この名詞の規定に従えば, ‘人’は具体名詞にも, 人名詞にも, 有情名詞にも属することになる. ただし, その中でも有情名詞と無情名詞の規定は形態論的観点から提示されているという点においては極めて客観的であるとも言える.

有生性というのは存在論, つまりその言語文化に属する人の見方によって決定されるものである. また, 現代朝鮮語においては, 有情名詞や無情名詞はその有生性が名詞に反映され, かつ格標示によって, 形態論的にその現れ方が異なる. 更に, 意味論的に名詞を分類すると, 人名詞, 団体名詞, 具体名詞, 抽象名詞が有情名詞や無情名詞の下位概念として存在するだろう. つまり, 本稿では, 現代朝鮮語において形態論的観点から意味論的観点に続く一連の名詞分類が可能であると考え. それらの関係を図示すると, 以下のようになる.

存在論的レベル———有生性(生物, 無生物)

形態論的レベル———有情名詞, 無情名詞

意味論的レベル———人名詞(人称名詞), 団体名詞, 人の所属物を含む名詞, 具体名詞, 抽象名詞

ここでは, 先行研究において提示されていない人の所属物という名詞をこの名詞の分類に付け加えている. 本稿でこの名詞をこの名詞の分類に付け加えた理由は, 意味論的に人の所属物と具体名詞はどちらも具体的な事物を表すという点で共通しているが, それらは有生性という観点から何らかの相違があるからである.

ところで, 主体や客体という意味論的役割(semantic role)と有情名詞や無情名詞という名詞の分類とは何の関わりもないのであろうか. 本稿では, どちらも意味論に関わる領域であるが, 前者を不安定なラベル付け, 後者を安定したラベル付けと考える. 例えば, 現代日本語の“太郎が花子を殺す”と“先生が本を読む”という文を例として考えてみることにしよう. 前者の文と後者の文どちらも動作の源(source)は殺すという動作の主体である‘太郎’, 読むという動作の主体である‘先生’であり, 動作の受け手(undergoer)は殺すという動作の客体である‘花子’, 読むという動作の客体である‘本’である. ただし, 動作の主体が動作の客体にどのくらいの影響を及ぼしてい

るか、あるいは動作の主体が動作の客体にどの程度の制御性をもってその動作を遂行しているかという観点で前者の文と後者の文は異なるだろう。前者の文では太郎の動作が花子を殺すという結果が引き起こされている。つまり花子には太郎の何らかの力が加わっている(殺す主体が殺される客体に対してかなりの影響力を持っている、あるいはかなりの制御性をもって動作を遂行している)のに対し、後者の文では先生が本を読んでも、本には先生の何の力も加わっていない(読む主体が読まれる客体に対して影響力をそれほど持っていない、あるいはそれほどの制御性をもって動作を遂行していない)。このように考えれば、意味論的役割は様々な文脈で様々な使い分けられなければならない、その名称も一定しないことになる。つまり、客体を制御することができる主体、客体を制御することができない主体があれば、それぞれに該当する意味論的役割が割り当てられなければならないのである。一方、現代日本語の“太郎が花子を殺す”と“先生が本を読む”という文において動作の主体や動作の客体に対応する名詞はどうなっているだろうか。‘太郎、花子、先生’は人を表す人名詞であり、‘本’は手で触ることができる具体名詞である。このように動作の主体と動作の客体に対応する名詞にはどの文脈においても同じ名称が使われることがわかる。このように考えれば、意味論的役割が名詞クラスよりも数が相対的に多いことになる。

一般言語学のヴォイスの規定にしろ、個別言語のヴォイスの規定にしろ、意味論的役割を除外した所での議論は成り立たないこと、そして意味論的役割も名詞の分類も、動作の主体や動作の客体の特性だけでなく、動作自身の特性によっても決定されるのは先行研究において何度も言及されてきたことである。しかし、本稿では、意味論的役割によって、ヴォイス接尾辞を取り得る動詞を考察せずに、先の名詞分類によって、それらを考察することにする。というのは、現代朝鮮語において意味論的役割よりも名詞の分類が形態論的に根拠づけられ、その議論こそが文法を記述する上で重要な客観性が顕著に現れるからである。

以上のことを踏まえて、本稿では Quirk(eds)(1985)の言及に基づき、現代朝鮮語の名詞クラスを整理し、本稿の考察に役立てることにしたい。

Quirk(eds)(1985)は、現代英語の文法を様々な観点から考察し、その結果を記述した文法書である。Quirk(eds)(1985:245-247)では、現代英語の名詞クラスに言及しているところもあり、現代英語の名詞クラスを次のように区別している(以下の表は本稿が Quirk(eds)(1985:247)を参考にして、作成したものである)。

名詞	可算名詞	具体名詞	<i>bun, pig, toy, ……</i>
		抽象名詞	<i>difficulty, remark, ……</i>

クラス	一般名詞	不可算名詞	具体名詞	<i>butter, gold, ……</i>
			抽象名詞	<i>music, homework, ……</i>
	固有名詞	—————	—————	<i>John, Paris, ……</i>

表 3. Quirk(eds) (1985:247)の図を表にして示したもの

Quirk(eds) (1985:245-247)における固有名詞, 一般名詞, 可算名詞, 不可算名詞, 具体名詞, 抽象名詞の説明は次のようになる. 最初に現代英語の名詞は一般名詞と固有名詞に分けることができる. 一般名詞と固有名詞は定冠詞や不定冠詞が付くかどうかという形態論的特徴, あるいは文中でも大文字で示すことができるかどうかという特徴等によって決定される. つまり, 定冠詞や不定冠詞がつくことができたり, 文中で大文字によって示すことができなければ, 一般名詞であり, 定冠詞や不定冠詞がつくことができなかつたり, 文中で大文字によって示すことができれば, 固有名詞である. 次に一般名詞は可算名詞と不可算名詞に分けることができる. 可算名詞と不可算名詞は複数形を持つことができるかどうかという形態論的特徴によって決定される. つまり, 複数形を持つことができれば, 可算名詞であり, 複数形を持つことができなければ, 不可算名詞である. 最後に, 可算名詞と不可算名詞はそれぞれ具体名詞と抽象名詞に分けることができる. 具体名詞と抽象名詞は触ることができるかどうか, 見ることができるかどうか, 測ることができるかどうかという意味論的特徴によって決定される. つまり, 触ることができたり, 見ることができたり, 測ることができるものは具体名詞であり, そうできないものが抽象名詞である.

ところで, 現代朝鮮語には, 現代英語の定冠詞や不定冠詞にあたる文法形態素もないし, 複数形にあたる文法形態素もあるとは言い難い²⁰⁾. つまり, 現代朝鮮語の名詞クラスは形態論的特徴を伴わない単純に意味論的特徴によることになる. ただし, 先に提示したように, 現代朝鮮語は生き物か非生き物かという有生性の観点が名詞に反映され, それが格助詞によって明示されるのである.

さて, Quirk(eds) (1985:245-247)の議論に基づき, 現代朝鮮語の名詞を分類するとどうなるだろうか. 本稿では, 以下のように現代朝鮮語の名詞を分類することにする.

名詞 クラス	生き物(有情名詞)	人名詞	사람(人), 그(彼), 대통령(大統領)等々
		団体名詞	나라(国), 국회(国会), 회사(会社)等々
		動物・植物	개(犬), 모기(蚊), 꽃(花)等々
	非生き物(無情名詞)	人の所属物	얼굴(顔), 손(手), 발(足)等々
		具体名詞	기계(機械), 도구(道具), 물(水)等々

		抽象名詞	법안(法案), 가치(価値), 상(賞)等々
--	--	------	------------------------

表 4. Quirk(eds) (1985)の言及を参考にして作成した現代朝鮮語の名詞クラス

以下の議論では、これらの名詞の分類を使用しながら、ヴォイス接尾辞を伴い、自動詞から他動詞に派生する動詞のペアとヴォイス接尾辞を伴い、他動詞から自動詞に派生する動詞のペアを考察することにする。

3. 本稿の目的と例文について

本稿の目的は現代朝鮮語のヴォイス接尾辞を取り得る動詞のうち、特にそれを伴い自動詞から他動詞に派生する②類の動詞ペアと他動詞から自動詞に派生する⑦類の動詞ペアをその動作の主体や動作の客体が生き物か非生き物であるか、そしてそれぞれに対応する名詞が何であるかという観点から考察することにある。

次に、本稿で取り扱う用例について言及することにする。本稿で取り扱う用例は、1970年代以降韓国で出版された小説と新聞の記事である(作品名、作者名そして出版年については本稿末尾にあげておく)。さらに、本稿では、1)非連体形であり、2)終止形語尾のうち、Ⅰ-는다, Ⅱ-ㄷ다という終止形直説法非過去叙述形下称を表す終止形語尾を伴っている無標形あるいは有標形を含む例文を収集し、考察することにする。現代朝鮮語の終止形語尾には、話し手と聞き手の間の社会的地位や年齢差などを表す待遇表現の役割を果たすものもある。実際の用例を考察する時、テキストにおける文は様々な終止形語尾を必ず伴って現れる。この終止形語尾のうち、Ⅰ-는다, Ⅱ-ㄷ다という終止形語尾を伴っている例文を収集するのは命題の外側を変え得る状況を排除することによって無標形や有標形の真の意味に接近することができるからである。ただし、その例文において無標形や有標形がⅠ-는다, Ⅱ-ㄷ다という終止形語尾を伴っていない場合は、その例文をそのまま使用せず、終止形語尾をⅠ-는다, Ⅱ-ㄷ다という終止形語尾に修正し、考察することにする(本文において、このような例文を使用する時は、予め修正したことに言及することにする。もちろんそのように書き換えた例文が文法的であるかどうかについては母語話者の方に確認している)。

4. それぞれの動詞のペアの考察

ここでは、ヴォイス接尾辞を伴い、自動詞から他動詞に派生する②類とヴォイス接尾辞を伴い、他動詞から自動詞に派生する⑦類を考察することにする。ヴォイス接尾辞を伴い、派生するパターンとしては14つもあるにも関わらず、この2つのパターンに限定して考察する理由は、先にも述べたように、1)比較的数が多い②類と⑦類を考察するのは、紙幅の都合上、全ての動詞のペアを取り扱うことができないからであり、2)①類から⑭類のどの動詞のペ

アも自動詞あるいは他動詞から派生している類であり, これらの動詞のペアを考察し, まず自動と他動の意味を規定して初めて, 他の類を含めた現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を記述でき, 3)形態論的に相反する②類と⑦類を比較することでヴォイス接尾辞の一部の機能をとらえることができるかと考えるからである.

まず, ヴォイス接尾辞を伴い, 自動詞から他動詞に派生する②類から考察することにする. ②類から考察する理由は, そこに属する動詞のペアの数が⑦類に属する動詞のペアの数よりも多いからである.

4. 1. ②類の考察

以下の表はヴォイス接尾辞を伴い, 自動詞から他動詞に派生する 44 個の動詞のペアを, 無標形の場合, その動作の主体が生き物か非生き物か, 有標形の場合, その動作の主体が生き物か非生き物か, その動作の客体が生き物か非生き物かという観点から整理したものである.

無標形		有標形		それに属する動詞のペア ²¹⁾
主体	生き物	主体	生き物, 非生き物	죽다, 깨다, 나다, 불다, 살다, 서다, 속다(7個)
	非生き物	客体	生き物, 非生き物	
主体	生き物	主体	生き物, 非生き物	나타나다, 날다, 남다, 드러나다, 뜨다, 부풀다, 비치다, 오르다, 줄다, 차다(10個)
	非生き物	客体	非生き物	
主体	生き物	主体	生き物	자다(1個)
	非生き物	客体	生き物, 非生き物	
主体	生き物	主体	生き物	눅다(1個)
	非生き物	客体	生き物	
主体	生き物	主体	生き物	가라앉다, 구르다, 기울다, 끓다, 마르다, 분다, 습다, 썩다(8個)
	非生き物	客体	非生き物	
主体	生き物	主体	生き物	무르다(1個)
		客体	非生き物	
主体	非生き物	主体	生き物, 非生き物	웁다, 지다, 타다(燃)(3個)
		客体	非生き物	
主体	非生き物	主体	生き物, 非生き物	눅다, 식다, 숙다, 일다(4個)
		客体	非生き物	
主体	非生き物	主体	生き物	늘다, 달다, 묻다(付), 비다, 새다, 아물다, 피다, 흐르다(8
		客体	非生き物	

				個)
主体		主体	生き物, 非生き物	짓다(1個)
		客体	生き物, 非生き物	
計				44個

表 5. ②類の動詞のペアにおいて動作の主体と客体が生き物か非生き物かによって分類した表

まず, 無標形である 죽다(死ぬ)と有標形である 죽이다(殺す)から考察することにする.

無標形である 죽다(死ぬ)の場合, 以下に示すように, 動作の主体に対応する名詞として様々なものが現れる.

(9) 재미 핵 물리학자 이휘소박사를 모델로 했다는 소설 속의 이용후박사는 박대통령의 간청을 받고 핵개발을 위해 귀국하였으나 교통사고로 죽는다. (在米核物理学者イフソ博士をモデルにしたという小説の中のイヨンフ博士は朴大統領の懇請を受け, 核開発のために帰国したが, 交通事故で死ぬ.) 조 94/10/28, 4面

(10) 이에 실패하면 자본가는 남은 돈보따리를 싸들고 외국으로 날아가지만 노동자는 죽는다. (これに失敗すれば, 資本家は残ったお金の包みをととのえ, 外国に高飛びするが, 労働者は死ぬ.) 조 94/01/14, 5面

(11) 해마다 영양실조와 병으로 1천 3백만명의 어린이들이 다섯살을 넘기지 못하고 죽는다. (毎年, 栄養失調と病で千三百万名の子供達が5歳にも満たず死ぬ.) 조 94/05/05, 1面

(12) 난이도에 따라 단계별로 진행되는데 처음 1 단계의 검술 대결에서는 싱거울 정도로 적이 쉽게 죽는다. (難易度によって, 段階別に進められるが, 最初の一段階の剣術対決ではつまらないくらいに敵が容易く死ぬ.) 조 93/09/02, 18面

(13) 야당이 죽는다²²⁾. (野党が死ぬ.) 조 93/08/26, 4面

(14) 닭은 하루에 약 3 만마리가 죽는다. (鶏は一日に約 3 万匹死ぬ.) 조 93/02/26, p. 20

(15) 이때 화학적인 발열반응으로 분 속에 있는 벌레 및 병원균이 죽는다. (この時, 化学発熱反応で盆の中にいる虫および病菌が死ぬ.) 조 94/08/18, 28面

(16) 예컨대 큰 소라도 나쁜 균에 오염되면 곧 죽는다. (例えば, 大きな牛も悪い菌に汚染されれば, すぐに死ぬ.) 조 94/08/26, 2面

(17) 그러나 며칠 동안만 먹이를 안 주고 물갈이를 게을리하면 붕어는 틀림없이 죽는다. (しかし, 何日かの間でさえもえさをあげず, 水かえを怠れば, フナは間違いなく死ぬ.) 조 94/12/27, 5面

(18) 이에 비해 서양이나 중동의 땅이 죽는다²²⁾. (これに比べて, 西洋や中東の土地が枯れる.) 조 93/09/18, 5面

(19) 만약 사라예보가 죽는다면 마스트리히트 조약에서 구현된 유럽의 이상도 죽는다. (万一, サラエボがなくなるとすれば, マストリヒト条約で具現されたヨーロッパの理想もなくなる.) 조 93/03/22, 4 面

(9)-(12)의 主体는 生き物で, それに対応する名詞として人名詞が現れる. (13)의 主体는 生き物で, それに対応する名詞としては団体名詞が現れ, (14)-(17)의 主体는 生き物で, それぞれに対応する名詞としては動物や病菌等が現れる. 一方, (18)의 主体는 非生き物で, それに対応する名詞として具体名詞が現れ, (19)의 主体는 非生き物で, それに対応する名詞として理想という抽象名詞が現れている. 以上のことから, 죽다(死ぬ)がその主体として生き物から非生き物までが現れることがわかる.

一方, この動詞の有標形である 죽이다(殺す)はどうであろうか. 以下にその例を示すことにする.

(20) 이런 신념으로 그는 자신보다 능력이 떨어지고 마약에 빠졌으며, 여자관계가 복잡한 동료의사에게 사형을 선고하고 그를 죽인다. (このような信念で彼は自分より能力が落ち, 麻薬におぼれ, 女性関係が複雑な同僚医師に死刑を宣告し, 彼を殺す.) 조 93/04/17, 13 面

(21) 노예였던 어머니가 자신이 겪은 참혹한 삶을 되풀이하지 않도록 자식을 죽인다. (奴隷だった母が自分が経験した残酷な人生を繰り返さないように, 息子を殺す.) 조 93/10/16, 13 面

(22) 비리사건이 터질 때마다 정치권 인사들은 숨을 죽인다. (汚職事件が起こる時はいつも, 政治家は息を殺す.) 조 94/03/08, 2 面

(23) BT(미생물의 유전자)는 사람에게는 전혀 해를 주지 않으면서도 나비목 곤충만 선택적으로 죽인다. (BT(微生物の遺伝子)は人には全く害を与えないのに, 蝶目の昆虫だけ選んで殺す.) 조 93/03/23, 23 面

(24) (사람이) 벨소리를 죽인다²²⁾. (人がベルの音を消す.) 조 93/12/07, 19 面

(25) 생활하수가 하천을 죽인다²²⁾. (生活下水が河川を殺す.) 조 94/08/26, 27 面

(26) 신문이 베레고부아를 죽인다²²⁾. (新聞がベルコブア(人)を殺す.) 조 93/10/16, 5 面

(20)-(21)의 主体や客体に対応する名詞はそれぞれ人名詞と人名詞が現れ, (22)의 主体や客体に対応する名詞はそれぞれ人名詞とその所属物が現れている. (23)의 主体と客体は生き物で, 対応する名詞はそれぞれ遺伝子と虫である. (24)의 主体と客体に対応する名詞とはそれぞれ人名詞と音という抽象名詞である. (25)의 主体と客体に対応する名詞はそれぞれ生活下水という具体名詞と河川という具体名詞である. (26)의 主体と客体に対応する名詞はそれぞれ具体名詞と人名詞であるが, 動作の主体に対応する具体名詞つまり新聞

は新聞を書く書き手や新聞社が裏に潜んでおり, 単純にその動作が生き物によって行われたとは言い切れない. 本稿では, 人によって構成されている名詞を団体名詞とし, 議論を進めているが, 新聞等の名詞も団体名詞として取り扱うことができるかについては今後の課題である.

以上のように죽이다(殺す)は, その動作の主体として生き物, 動けるものから非生き物までが現れ, その動作の客体として生き物, 動けるものから非生き物までが現れる. また, 죽이다(殺す)の例文には動作の客体として動作の主体よりも有生性の高いものがきている例文は一つもないことがわかる.

以上の考察から, 죽다(死ぬ)と죽이다(殺す)の特徴を整理すると, 次のようになる.

動詞	特徴		
	その動詞の主体と客体		それぞれに対応する名詞
죽다	主体	生き物	人名詞, 団体名詞, 動物・植物
		非生き物	具体名詞, 抽象名詞
	客体	なし	なし
죽이다	主体	生き物	人名詞, 動物・植物, 具体名詞
	客体	非生き物	人名詞, 人の所属物, 抽象名詞

表 6. 例文における죽다(死ぬ)と죽이다(殺す)の特徴

以下の動詞の無標形と有標形も죽다(死ぬ)と죽이다(殺す)と同じような状況が見て取れる. つまり, 죽다(死ぬ)と죽이다(殺す)よりは, 動作の主体と客体に対応する名詞の種類は多くないが, 無標形の場合, 動作の主体として生き物や非生き物が現れるのに対し, 有標形の場合, 動作の主体として生き物や非生き物が現れ, 動作の客体として生き物や非生き物が現れる. 以下はその動作の主体や客体として何が現れ, それぞれに対応する名詞として何が現れたかを示すものである²³⁾.

(깨다(覚める)-깨우다(覚ます))

無標形: 主体[그(彼, 人名詞, 生き物) 조 94/11/25, 21 面, 잠(眠り, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/05, 5 面]

有標形: 主体・客体[한국사람(韓国人, 人名詞, 生き物)・상대방(相手, 人名詞, 生き物) 조 94/07/31, 6 面, 강진(強い地震, 抽象名詞, 非生き物)・LA 시(LA市, 団体名詞, 生き物) 조 94/01/18, 31 面, 이원론(二元論, 抽象名詞, 非生き物)・열정(情熱, 抽象名詞, 非生き物) 사 pp. 190-191, 자명종의 벨소리(目覚まし時計のベル, 抽象名詞, 非生き物)・잠(眠り, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/12/07, 19 面]

(나다(出る)-내다(出す))²⁴⁾

無標形: 主体[효자(孝子, 人名詞, 生き物) 조 93/05/24, 1面, 콧물(鼻水, 具体名詞, 非生き物) 조 93/05/23, 17面, 분위기(雰困氣, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/07/30, 17面]

有標形: 主体·客体[主体의 明示なし(人名詞, 生き物)·사표(辞表, 具体名詞, 非生き物) 조 93/03/31, 1面, 편집자(編集者, 人名詞, 生き物)·OK 사인(OKサイン, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/03/05, 38面, 상임 이사국(常任理事国, 団体名詞, 生き物)·예산(予算, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/08/31, 6面, 잉크젯(インクジェット, 具体名詞, 非生き物)·색깔(色, 具体名詞, 非生き物) 조 93/04/30, 23面, 뉴스(ニュース, 抽象名詞, 非生き物)·자막(字幕, 具体名詞, 非生き物) 조 93/10/24, 10面]

(붙다-붙이다(付ける))

無標形: 主体[이들(彼ら, 人名詞, 生き物) 조 94/12/02, 7面, 경호차량(警護車両, 具体名詞, 非生き物) 조 93/02/28, 23面, 부가가치(付加価値, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/09, 5面]

有標形: 主体·客体[主体의 明示なし(人名詞, 生き物)·안내문(案内文, 具体名詞, 非生き物) 조 93/02/01, 23面, 사람들(人々, 人名詞, 生き物)·한마디(一言, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/04/04, 5面, 농가(農家, 団体名詞, 生き物)·가격표(価格表, 具体名詞, 非生き物) 조 94/04/28, 19面, 북한(北朝鮮, 団体名詞, 生き物)·조건(条件, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/03/04, 3面, 북한측(北朝鮮側, 団体名詞, 生き物)·안내원(案内員, 人名詞, 生き物) 조 94/07/05, 4面, 열기(熱氣, 抽象名詞, 非生き物)·불(火, 具体名詞, 非生き物) 조 94/04/15, 33面]

(살다(生きる)-살리다(生かす))

無標形: 主体[3천여명의 일본인(3千名余りの日本人, 人名詞, 生き物) 한 p. 330, 중소기업(中小企業, 団体名詞, 生き物) 한 p. 276, 경제(經濟, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/05/25, 3面]

有標形: 主体·客体[아버지와 삼촌(父とおじ, 人名詞, 生き物)·우리 할머니(私のおばあさん, 人名詞, 生き物) 조 94/08/03, 5面, 그(彼, 人名詞, 生き物)·유대인의 목숨(ユダヤ人の命, 人の所属物, 非生き物) 조 94/11/01, 5面, 졸업생(卒業生, 人名詞, 生き物)·분위기(雰困氣, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/15, 13面, 문장(文章, 具体名詞, 非生き物)·옛맛(昔の趣, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/05/04, 15面, 눈사람(雪だるま, 具体名詞, 非生き物)·분위기(雰困氣, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/05/25, 3面, 세계 여론의 압력(世界の世論の圧力, 抽象名詞, 非生き物)·나(私, 人名詞, 生き物) 조 93/05/17, 3面, 작가의 문체(作家の文体, 抽象名詞, 非生き物)·효과(効果, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/04/07, 15面]

(서다(立つ)-세우다(立てる))

無標形: 主体[피고(被告, 人名詞, 生き物) 조 93/02/04, 16面, 미국(アメリカ, 団体名

詞, 生き物) 조 93/04/13, 14 面, 나무(木, 植物, 生き物) 조 93/09/22, 9 面, 머리(頭, 人の所属物, 非生き物) 조 93/03/04, 2 面, 철봉(鉄の棒, 具体名詞, 非生き物) 조 93/05/25, 23 面, 전망(展望, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/07, 2 面]

有標形: 主体・客体 [홍검사(ホン検事, 人名詞, 生き物)・32 명(32 名, 人名詞, 生き物) 조 93/05/07, 30 面, 시민(市民, 人名詞, 生き物)・위령비(慰靈碑, 具体名詞, 非生き物) 조 93/09/04, 5 面, 김씨(キム氏, 人名詞, 生き物)・손끝(指先, 人の所属物, 非生き物) 조 93/08/31, 3 面, 이들(彼ら, 人名詞, 生き物)・야학(夜学, 団体名詞, 生き物) 조 94/11/05, 14 面, 2 명(2 名, 人名詞, 生き物)・차(車, 具体名詞, 非生き物) 조 93/03/15, 6 面, 主体の明示なし(団体名詞, 生き物)・현지지사(現地支社, 団体名詞, 生き物) 조 93/06/15, 6 面, 대책위(対策委, 団体名詞, 生き物)・방침(方針, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/11, 11 面, 칼럼(コラム, 具体名詞, 非生き物)・대기록(大記録, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/23, 1 面]

(속다(だまされる)-속이다(だます))²⁵⁾

無標形: 主体・客体 [민중(民衆, 人名詞, 生き物)・그런 자(そのような者, 人名詞, 生き物) 사 p. 120, 히틀러(ヒットラー, 人名詞, 生き物)・소·유럽(ソ連・ヨーロッパ, 団体名詞, 生き物) 조 94/03/15, 6 面, 서류(書類, 具体名詞, 非生き物)・군(軍, 団体名詞, 生き物) 조 93/12/17, 31 面, 회유(懷柔, 抽象名詞, 非生き物)・主体明示なし(人名詞, 生き物) 조 93/12/17, 30 面]

有標形: 主体・客体 [김대표(キム代表, 人名詞, 生き物)・나(私, 人名詞, 生き物) 조 94/08/31, 4 面, 금융기관(金融機関, 団体名詞, 生き物)・고객(顧客, 人名詞, 生き物) 조 94/03/14, 15 面, 북한측(北朝鮮側, 団体名詞, 生き物)・UN 측(国連側, 団体名詞, 生き物) 조 94/10/27, 3 面, 북한(北朝鮮, 団体名詞, 生き物)・계획(計画, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/10/27, 3 面, 피(血, 具体名詞, 非生き物)・客体の明示なし(人名詞, 生き物) 사랑 2pp. 170-171]

以上の속다-속이다から속다-속이다までの考察結果を通じて次のようなことがわかる。無標形の主体として生き物(28 例中 17 例で 60.7%), 非生き物(28 例中 11 例で 39.3%)が現れる(本稿では, 속다の例をこの割合に含めていない。というのは속다が自動でなく受動を意味するからである)。一方, 有標形の主体として生き物, 非生き物, 有標形の客体として生き物, 非生き物が現れるといっても, 有標形の場合, Klaiman(1991)の見解に従って, 有生性の高い動作の主体から有生性の低い動作の客体に移行していくことがわかる(有標形の場合, 全体のうち動作の主体が生き物, 動作の客体が非生き物の割合が 42 例中 17 例で 40.5%と最も高い)。ただし, 속이다に関する例(23)が示すように, 新聞やコラム等の出版物が人を殺す場合, 実際は新聞等が人を殺すのではなくて, その主張や言論そしてそれらの背後に潜む人によって殺

されると解釈することができ, そのような文が成り立つと考えることができる. また, 主体に対応する名詞として抽象名詞が現れ, 客体に対応する名詞として人名詞が現れる場合, 抽象的なことを表すものは生きているものには想像できない力を備える, つまりその動作を遂行できる潜在性があるので, このような文が成立すると考えることができる. このような見解は Klaiman(1991)では指摘していなかったことである.

次に先の動詞とは異なり, 無標形の場合, 主体として生き物, 非生き物が現れ, 有標形の場合, 主体として生き物, 非生き物, 客体として非生き物が現れる一連の動詞を見ることにしよう. 나타나다(現れる)-나타내다(現す)はこの一連の動詞に属する.

(27)5 분뒤, 정대표가 출국장에 나타난다.²²⁾(5 分後, チョン代表が出国場に現れる.) 조 93/01/14, 31 面

(28)(…省略)길고 창백한 얼굴이 나타나다.²²⁾(長くて蒼白な顔が現れる.) 사, p. 13

(29)자동화분야에서는 인간 혈관 속에 들어가 암세포를 파괴하고 수술을 하는 극초미세 기계, 마이크로머신이 나타나다. (自動化分野では人間の血管の中に入り, 癌細胞を破壊し手術する極超微細機械, 마이크로マシンが現れる.) 조 93/03/11, 9 面

(30)특히 입안이 헐고 열이 나며 심하면 탈수현상이 나타나다. (特に口の中がただれ, 熱が出て, ひどければ, 脱水症状が現れる) 조 93/01/01, 19 面

(31)(…省略)여러 전직의원들과 사회저명인사들도 모습을 나타낸다.²²⁾(様々な前任の委員達と社会的著名人達も姿を表す.) 조 93/01/21, 2 面

(32)홍콩에서 태어난 장국영은 처음엔 가수생활을 하다가 80 년대 중반 영화배우로 두각을 나타낸다. (香港で生まれたチャンギョン은最初, 歌手生活を送っている途中で, 80 年代中盤, 映画俳優として頭角を現す.) 조 94/01/05, 16 面

(33)구본승의 출연에 대해 기성세대는 물론 젊은층 일부에서도 거부반응을 나타낸다. (クボンスンの出演について既成の世代はもちろん若い層の一部でも拒否反応を表す.) 조 94/8/20, 18 面

(34)화폐는 그 나라의 문화를 나타낸다. (貨幣はその国の文化を表す.) 조 93/01/21, 2 面

(27)-(30)は全て無標形を含む例であり, 主体とそれに対応する名詞はそれぞれ生き物, 人名詞(例文(27)), 非生き物, 人の所属物(例文(28)), 非生き物, 具体名詞(例文(29)), 非生き物, 抽象名詞(例文(30))である. 一方, (31)-(34)は全て有標形を含む例である. (31)では, 主体とそれに対応する名詞が生き物, 人名詞であり, 客体とそれに対応する名詞が非生き物, 人の所属物である. (32)では, 主体とそれに対応する名詞が生き物, 人名詞であり, 客体とそれに対応する名詞が非生き物, 抽象名詞である. (33)では, 主体と

それに対応する名詞が生き物, 団体名詞であり, 客体とそれに対応する名詞が非生き物, 抽象名詞である. (34)では, 主体とそれに対応する名詞が非生き物, 抽象名詞であり, 客体とそれに対応する名詞が非生き物, 抽象名詞である.

他の動詞のペアとしては, 以下のものがある.

(날다(飛ぶ)-날리다(飛ばせる))²⁶⁾

無標形:主体[새(鳥, 動物, 生き物)무 p. 308, 상업 항공기(商業航空機, 具体名詞, 非生き物)조 94/12/02, 6面, 포탄(砲弾, 具体名詞, 非生き物)조 94/04/19, 7面]

有標形:主体・客体[사용자(使用者, 人名詞, 生き物)・자료(資料, 具体名詞, 非生き物)조 94/10/25, 35面, 그(彼, 人名詞, 生き物)・이름(名前, 抽象名詞, 非生き物)조 93/07/15, 30面, 아시아나항공(アジアナ航空, 団体名詞, 生き物)・24 억원(24億ウォン, 抽象名詞, 非生き物)조 93/11/09, 31面, 책(本, 具体名詞, 非生き物)・후속타(後続打, 抽象名詞, 非生き物)조 94/03/01, 31面]

(남다(残る)-남기다(残す))

無標形:主体[22명(22名, 人名詞, 生き物)조 93/02/16, 3面, 동독과 동유럽(東ドイツと東欧, 団体名詞, 生き物)조 93/10/31, 4面, 자국(痕, 具体名詞, 非生き物)조 93/11/23, 19面, 후유증(後遺症, 抽象名詞, 非生き物)조 93/01/14, 3面]

有標形:主体・客体[그(彼, 人名詞, 生き物)・시조(定型詩, 具体名詞, 非生き物)조 93/04/04, 13面, 대통령(大統領, 人名詞, 生き物)・장기집권의 그림자(長期政権の影, 抽象名詞, 非生き物)조 93/04/02, 6面, 병원(病院, 団体名詞, 生き物)・이익(利益, 抽象名詞, 非生き物)조 93/11/18, 1面, 여행(旅行, 抽象名詞, 非生き物)・추억(思い出, 抽象名詞, 非生き物)조 94/05/27, 5面]

(드러나다(現れる)-드러내다(現す))

無標形:主体[아이들(子供たち, 人名詞, 生き物)그 p. 327, 세계(世界, 団体名詞, 生き物)조 93/02/04, 19面, 대기업들의 긴장하는 모습(大企業の緊張する姿, 所属物, 非生き物)조 93/04/28, 5面, 정책구상(政策構想, 抽象名詞, 非生き物)5 조 93/01/05, 4面]

有標形:主体・客体[인간(人間, 人名詞, 生き物)・얼굴(顔, 人の所属物, 非生き物)조 93/11/23, 15面, 작가(作家, 人名詞, 生き物)・죄의식(罪意識, 抽象名詞, 非生き物)조 93/12/23, 15面, 청와대(青瓦台, 団体名詞, 生き物)・희망(希望, 抽象名詞, 非生き物)조 93/03/26, 2面, 겨울의 모기(冬の蚊, 虫, 生き物)・모습(姿, 所属物, 非生き物)조 93/11/23, 19面, 책(本, 具体名詞, 非生き物)・문제 의식(問題意識, 抽象名詞, 非生き物)조 93/12/25, 14面, 측면(側面, 抽象名詞, 非生き物)・분석(分析, 抽象名詞, 非生き物)조 93/03/06, 13面]

(뜨다(浮かぶ)-띄우다(浮かべる))

無標形: 主体[신임의장(新任議長, 人名詞, 生き物) 조 93/02/22, 12面, 민주당(民主
黨, 団体名詞, 生き物) 조 93/03/12, 4面, 비행기(飛行機, 具体名詞, 非生き
物) 조 93/09/10, 4面, 요구(要求, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/02/14, 3面]

有標形: 主体·客体[중국인(中国人, 人名詞, 生き物)·모터보트(モーターボート, 具体
名詞, 非生き物) 조 93/08/07, 1面, 主体의明示なし(人名詞, 生き物)·편지(手
紙, 具体名詞, 非生き物) 조 93/04/27, 25面, 영국(イギリス, 団体名詞, 生き
物)·인공위성(人工衛星, 具体名詞, 非生き物) 조 93/01/29, 28面, 인공위성
(人工衛星, 具体名詞, 非生き物)·영상정보(映像情報, 具体名詞, 非生き物)
조 94/04/19, 11面]

(부풀다(ふくらむ)-부풀리다(ふくらます))

無標形: 主体[정씨(チョン氏, 人名詞, 生き物) 조 93/10/11, 9面, 부산(釜山, 団体
名詞, 生き物) 조 93/02/20, 9面, 가슴(胸, 人の所属物, 非生き物) 조 93/09/19
, 13面, 풍선(風船, 具体名詞, 非生き物) 조 93/11/06, 14面, 희망(希望, 抽
象名詞, 非生き物) 조 93/02/18, 5面]

有標形: 主体·客体[주택회사(住宅会社, 団体名詞, 生き物)·의혹(疑惑, 抽象名詞, 非
生き物) 조 94/07/16, 9面, 의약품(医薬品, 具体名詞, 非生き物)·순이익(純
利益, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/15, 10面, 개혁물량(改革物量, 抽象名
詞, 非生き物)·한국인의 양식(韓國人の良識, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/
01, 37面]

(비치다(照る)-비추다(照らす))²⁷⁾

無標形: 主体[이들 부부(彼ら夫婦, 人名詞, 生き物) 조 93/02/14, 3面, 자국(痕, 具体
名詞, 非生き物) 우 p. 48, 혼선과 갈등(混線と葛藤, 抽象名詞, 非生き物) 조
94/08/18, 3面]

有標形: 主体·客体[김 최고위원(キム最高委員, 人名詞, 生き物)·가능성(可能性, 抽
象名詞, 非生き物) 조 93/01/07, 1面, 재무부 측(財務部側, 団体名詞, 生き
物)·내심(内心, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/06/01, 11面, 빛(光, 抽象名詞,
非生き物)·지역(地域, 団体名詞, 人名詞) 조 93/02/06, 1面]

(오르다(上がる)-올리다(上げる))

無標形: 主体[건설부장관(建設庁長官, 人名詞, 生き物) 조 93/01/07, 7面, 연방정부
(連邦政府, 団体名詞, 生き物) 조 93/03/01, 12面, 가슴(胸, 人の所属物, 非
生き物) 조 93/08/23, 14面, 막(幕, 具体名詞, 非生き物) 조 93/08/12, 8面,
인건비(人件費, 抽象名詞, 非生き物) 한 p. 278]

有標形: 主体·客体[혜완(ヘワン, 人名詞, 生き物)·스위치(スイッチ, 具体名詞, 抽象
名詞) 무 p. 14, 사람(人, 人名詞, 生き物)·능률(能率, 抽象名詞, 非生き物) 조
93/01/28, 28面, 연극단(劇団, 団体名詞, 生き物)·막(幕, 具体名詞, 非生き
物) 조 94/07/30, 1面, 미국(アメリカ, 団体名詞, 生き物)·무역실적(貿易実
績, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/22, 3面, 소금(塩, 具体名詞, 非生き物)·
혈압(血圧, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/04/11, 17面]

(줄다(減る)-줄이다(減らす))

無標形: 主体[6천여명(6千名余り, 人名詞, 生き物) 조 93/01/10, 19面, 관람객(觀覽客, 団体名詞, 生き物) 조 93/08/31, 30面, 개(犬, 動物, 生き物) 조 94/01/04, 11面, 쓰레기(ゴミ, 具体名詞, 非生き物) 조 93/01/05, 28面, 긴장(緊張, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/16, 4面]

有標形: 主体·客体[개인(個人, 人名詞, 生き物)·5단계(5段階, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/08/19, 4面, 공사장(工事現場, 団体名詞, 生き物)·먼지(ほこり, 具体名詞, 非生き物) 조 93/02/13, 2面, 신일본제철(新日本製鉄, 団体名詞, 生き物)·관리부문(管理部門, 団体名詞, 生き物) 조 93/10/20, 10面, 활엽수(針葉樹, 植物, 生き物)·배기가스(排気ガス, 具体名詞, 非生き物) 조 93/01/14, 2面, PC(コンピューター, 具体名詞, 非生き物)·전자파와 전력낭비(電磁波と電力浪費, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/05/19, 27面, 마모(磨耗, 抽象名詞, 非生き物)·차의 수명(車の寿命, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/10/26, 19面]

(차다(滿ちる)-채우다(滿たす))

無標形: 主体[기자(記者, 人名詞, 生き物) 조 94/03/25, 2面, 주차장(駐車場, 具体名詞, 非生き物) 조 93/03/06, 17面]

有標形: 主体·客体[여자(女性たち, 人名詞, 生き物)·쇼룸(ショールーム, 具体名詞, 非生き物) 조 93/08/09, 19面, 학교(学校, 団体名詞, 生き物)·정원(定員, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/12/31, 9面, 해골(骸骨, 具体名詞, 非生き物)·위령탑(慰靈塔, 具体名詞, 非生き物) 조 93/05/23, 4面]

以上の나타나다-나타내다から차다-채우다までの結果から見てもわかるように, やはりそれぞれの動詞の有標形では, 動作の客体よりも動作の主体に有生性が高いものがくる傾向にあり, たとえ비추다のように動作の客体よりも有生性が低いものが動作の主体にきたとしても, その動作の主体はその動作の客体よりも潜在的にその動作を遂行する能力があるから, そのような文が成立するのである(有標形の場合, 全体のうち動作の主体が生き物, 動作の客体が非生き物の割合が41例のうち25例で61.0%と最も高く, 動作の主体が非生き物で動作の客体が生き物の場合も割合が低いものの, 41例のうち1例で2.4%である).

次に先の動詞とは異なり, 無標形の場合, 主体として生き物, 非生き物が現れ, 有標形の場合, 主体として生き物, 客体として生き物, 非生き物が現れる動詞のペアを見ることにする. このような動詞のペアには, 자다(寝る)-재우다(寝かせる)しかない. その動詞のペアの考察結果を示すと以下のようになる.

(자다(寝る)-재우다(寝かせる))

無標形: 主体[시민들(市民たち, 人名詞, 生き物) 조 94/07/24, 25面, 법안(法案, 抽象

名詞, 非生き物) 93/12/08, 2面]

有標形: 主體・客體[主體の明示なし(人名詞, 生き物)・아이(子供, 人名詞, 生き物) 94/03/09, 19面, 主體の明示なし(人名詞, 生き物)・고기(肉, 具体名詞, 非生き物) 94/08/29, 2面]

今度は, 無標形の場合, 主體として生き物, 非生き物が現れ, 有標形の場合, 主體として生き物, 客體として生き物が現れる動詞を見ることにする. その動詞としては, 눅다(横たわる)-눅히다(横たえる)のペアしかない.

(35)그 때문에 그는 신경쓰는 일이 생길 때면 앉아 눅는다. (それ故, 彼は気をつかうことが生じると, すぐに患い, 臥す.) 93/05/20, 3面

(36)(…省略)『자유의 투사』청동조형물이 양쪽에 길게 눅는다.²²⁾(『自由の闘志』青銅造形物が両側に長く横たわる.) 94/04/19, 29面

(37)어머니는 더 말하지 않았고 혜완은 얇은 이불을 꺼내 어머니를 눅힌다.²²⁾(母はそれ以上言わなかったし, ヘアンは薄い掛け布団を引っ張り出し, 母を寝かせる.) 무, p. 251

有標形の場合, 動作の主體と動作の客體が生き物同士ということで Klaiman(1991)の見解と一致する.

以下に示す動詞のペアは, 無標形の場合, 主體として生き物, 非生き物が現れ, 有標形の場合, 主體として生き物, 客體として非生き物が現れる動詞である. その動詞としては, 가라앉다(沈む)-가라앉히다(沈める)という一連の動詞のペアがある.

(38)최선생은 나이도 많고 수영을 하지 못해 점점 물속으로 가라앉는다.²²⁾(チェ先生は年もっており, 水泳もできず, 段々と水の中に沈む.) 94/10/22, 30面

(39)우리나라는 지금 해마다 한치 이상씩 가라앉는다.²²⁾(わが国は今, 毎年少しずつ沈む.) 94/10/25, 7面

(40)사고 여객선은 (…省略…) 물 밑에 가라앉는다.²²⁾(事故旅客船は水の下に沈む.) 93/10/12, 30面

(41)『물』소동이 대충 가라앉는다.²²⁾(『水』騒動が大体静まる.) 94/01/20, 3面

(42)이럴 땐 우선 운동을 멈추고 환부에 얼음찜질을 해서 모세혈관의 출혈을 막고 부기를 가라앉힌다. (このような時は, まず運動をやめ, 患部に氷湿布をし, 毛細血管の出血をふせぎ, 腫れを鎮める.) 94/02/09, 25面

(43)한국은행은 (…省略…) 콜금리상승을 가라앉힌다.²²⁾(韓国銀行はコール金利上昇をしずめる.) 93/06/01, 11面

(38)-(41)は無標形を含む例文であり, (42)-(43)は有標形を含む例文であ

る。(38)-(39)の主体はいずれも生き物であり, それに対応する名詞として人名詞と団体名詞がそれぞれ現れている。(40)-(41)の主体はいずれも非生き物であり, それに対応する名詞として具体名詞と抽象名詞がそれぞれ現れている。(42)の主体は明示されていないが, 生き物であり, 客体は腫れである。それぞれに対応する名詞は人名詞, 具体名詞である。(43)の主体は生き物であり, 客体は非生き物である。それぞれに対応する名詞は団体名詞, 抽象名詞である。ここでもやはり有標形の場合, 動作の客体が動作の主体よりも有生性が低いという結果になる。

他の動詞のペアとしては, 以下のものがある。

(구르다(転ぶ)-굴리다(転ばす))

無標形: 主体[여인(女人, 人名詞, 生き物) 조 93/06/20, 5面, 비행기(飛行機, 具体名詞, 非生き物) 조 93/07/27, 31面, 사건(事件, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/30, 4面]

有標形: 主体・客体[그(彼, 人名詞, 生き物)・눈망울(目玉, 人の所属物, 非生き物) 조 94/07/09, 17面, 장씨(チャン氏, 人名詞, 生き物)・자금(資金, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/22, 11面, 주민들(住民たち, 人名詞, 生き物)・자가용(自家用車, 具体名詞, 非生き物) 조 93/08/30, 2面]

(기울다(傾く)-기울이다(傾ける))

無標形: 主体[투자자(投資者, 人名詞, 生き物) 조 93/10/09, 8面, 민주당(民主党, 団体名詞, 生き物) 조 94/11/25, 4面, 땅(土地, 具体名詞, 非生き物) 조 93/12/09, 5面, 주가(株価, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/24, 15面]

有標形: 主体・客体[혜완(ヘワン, 人名詞, 生き物)・가방(カバン, 具体名詞, 非生き物) 무 p. 66, 과학자(科学者, 人名詞, 生き物)・온힘(全力, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/06/30, 9面, 북한(北朝鮮, 団体名詞, 生き物)・심혈(心血, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/05/26, 23面]

(끓다(沸く)-끓이다(沸かす))

無標形: 主体[일본(日本, 団体名詞, 生き物) 조 94/04/18, 7面, 속(心中, 人の所属物, 非生き物) 조 94/10/26, 2面, 물(水, 具体名詞, 非生き物) 사랑 1p. 340, 정국(政局, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/12/02, 7面]

有標形: 主体[主体の明示なし(団体名詞, 生き物)・속(心中, 人の所属物, 非生き物) 조 94/12/21, 4面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・라면(ラーメン, 具体名詞, 非生き物) 당 p. 121]

(마르다(乾く)-말리다(乾かす))²⁸⁾

無標形: 主体[사람(人, 人名詞, 生き物) 무 p. 138, 타월(タオル, 具体名詞, 非生き物) 조 93/05/13, 18面, 인심(人心, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/10/05, 19面]

有標形: 主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・客体[구두(靴, 具体名詞, 非生き物) 조 93/06/20, 13面]

(분다(ふくれる)-블리다(増やす))

無標形:主体[오페라관객(オペラ観客, 人名詞, 生き物) 조 94/01/01, 45面, 재산(財産, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/02/28, 1面]

有標形:主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・몸집(体格, 人の所属物, 非生き物) 조 94/09/12, 11面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・콩(大豆, 具体名詞, 非生き物) 조 93/02/02, 17面, 主体の明示なし(団体名詞, 生き物)・재산(財産, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/09/16, 26面]

(숨다(隠れる)-숨기다(隠す))

無標形:主体[민간인(民間人, 人名詞, 生き物) 조 93/03/08, 5面, 경찰(警察, 団体名詞, 生き物) 조 93/04/20, 30面, 강아지 한 마리(子犬一匹, 動物, 生き物) 조 93/05/02, 5面, 바이러스(ウィルス, ウィルス, 生き物) 조 93/03/09, 19面, 요소(要素, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/04/21, 10面]

有標形:主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・몸(体, 人の所属物, 非生き物) 조 94/12/08, 30面, 부하(部下, 人名詞, 生き物)・담배(たばこ, 具体名詞, 非生き物) 조 93/01/26, 31面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・의중(意中, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/18, 2面, 이라크(イラク, 団体名詞, 生き物)・세균 무기(細菌武器, 具体名詞, 非生き物) 조 93/04/09, 6面]

(썩다(腐る)-썩히다(腐らせる))

無標形:主体[공무원(公務員, 人名詞, 生き物) 조 93/04/04, 6面, 우유팩(牛乳パック, 具体名詞, 非生き物) 조 93/05/10, 19面, 경제(経済, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/01, 34面]

有標形:主体・客体[농민(農民, 人名詞, 生き物)・客体の明示なし(具体名詞, 非生き物) 조 94/05/04, 30面, 풋내기 학생(新入生, 人名詞, 生き物)・어른들의 속(大人たちの心, 人の所属物, 非生き物) 조 94/07/13, 2面, 우리나라(わが国, 団体名詞, 生き物)・김치(キムチ, 具体名詞, 非生き物) 조 94/04/16, 15面]

以上の가라앉다-가라앉히다から썩다-썩히다までの結果から見てもわかるように, やはりそれぞれの動詞の有標形では, 動作の客体よりも動作の主体に有生性が高いものがくる傾向にある(有標形の場合, 全体のうち動作の主体が生き物, 動作の客体が非生き物の割合が 21 例のうち 21 例で 100.0%である).

更に以下に示す動詞のペアは, 無標形の場合, 動作の主体が生き物として現れ, 有標形の場合, 動作の主体が生き物, 動作の客体が非生き物として現れるものである. これも有標形において動作の主体が動作の客体よりも有生性が高いので, Klaiman(1991)の見解に一致する. その動詞のペアは以下のものである.

(무르다(退く)-물리다(譲る))²⁹⁾

無標形: 主体[主体の明示なし(人名詞, 生き物) 연 p. 724]

有標形: 主体・客体・それ以外[태종(太宗, 人名詞, 生き物)・왕위(王位, 抽象名詞, 非生き物)・세종(世宗, 人名詞, 生き物) 조 94/09/04, 7 面]

次に無標形において主体として非生き物が現れ, 有標形において主体として生き物と非生き物が現れ, 客体として生き物と非生き物が現れる一連の動詞のペアである. その動詞のペアには 옮다(移る)-옮기다(移す)が含まれる. 以下がその例である.

(44) 질병은 어머니에게서 옮는다.²²⁾ (疾病は母から移る.) 조 93/07/13, 19 面

(45) 그럴 때면 그녀는 몹시 오한이 나는 듯 멈춰 서서 오들오들 떨다가 다시 걸음을 옮긴다. (そんな時, 彼女はひどく悪寒がするように立ち止まり, ぶるぶると震えて, 歩く.) 배 p. 178

(46) (...省略) 내용을 거의 그대로 옮긴다.²²⁾ (内容をほとんどそのまま写す.) 조 94/03/23, 5 面

(47) 그는 이를 그대로 행동에 옮긴다.²²⁾ (彼はこれをそのまま行動にうつす.) 조 94/06/26, 4 面

(48) 이스라엘경찰은 새로 창설되는 팔레스타인경찰에 넘겨줄 예정인 경찰관서에서 공공기물을 수송차량에 옮긴다.²²⁾ (イスラエル警察は新しく創設されるパレスタイン警察に譲り渡すつむりの警察官署から公共器物を輸送車両に移す.) 조 94/04/04, 5 面

(49) 시민단체가 계획을 실천에 옮긴다.²²⁾ (市民団体が計画を実践にうつす.) 조 94/09/14, 5 面

(50) 이 병에 걸린 소나 돼지는 물론 그 고기도 공기 전염에 의해 이 병을 옮긴다. (この病気にかかった牛や豚はもちろんその肉も空気伝染によってその病気をうつす.) 조 93/01/30, 1 面

(51) 헬기는 쓰레기를 옮긴다.²²⁾ (ヘリコプターはごみをうつす.) 조 94/02/28, 25 面

(44)は無標形を含む文であり, その主体は非生き物, それに対応する名詞として抽象名詞が現れる. (45)-(51)は有標形を含む文である. (45)-(49)の主体は生き物で客体は非生き物であり, それぞれに対応する名詞は人名詞と人の所属物, 人名詞と具体名詞, 人名詞と具体名詞, 団体名詞と具体名詞, 団体名詞と抽象名詞である. (50)の主体は生き物で客体は非生き物であり, 対応する名詞はそれぞれ動物, 抽象名詞である. (51)の主体は非生き物で客体は非生き物であり, 対応する名詞はそれぞれ具体名詞, 具体名詞である. これらの例のうち, 動作の客体が動作の主体より有生性が高いものがない. その他の動詞のペアには次のものがある.

(지다(消える)-지우다(消す))

無標形:主体[별(星, 具体名詞, 非生き物)조 94/02/28, 25 面]

有標形:主体·客体[국민학생(小学生, 人名詞, 生き物)·오자(誤字, 具体名詞, 非生き物)조 93/04/27, 14 面, 작가(作家, 人名詞, 生き物)·존재와 의식(存在と意識, 抽象名詞, 非生き物)조 93/09/07, 19 面, 굉음(轟音, 抽象名詞, 非生き物)·한 나라, 한 제국, 한 시대(一つの国, 一つの帝国, 一つの時代, 団体名詞, 生き物)조 94/12/24, 13 面]

(타다(燃える)-태우다(燃やす))³⁰⁾

無標形:主体[얼굴(顔, 人の所属物, 非生き物)조 94/10/03, 12 面, 절(寺, 具体名詞, 非生き物)조 94/10/30, 13 面, 마음(心, 抽象名詞, 非生き物)조 94/09/27, 19 面]

有標形:主体·客体[이들(彼ら, 人名詞, 生き物)·화약고(火薬庫, 具体名詞, 非生き物)조 93/03/09, 14 面, 사무총장(事務総長, 人名詞, 生き物)·의지(意志, 抽象名詞, 非生き物)조 93/03/08, 3 面, 불(火, 具体名詞, 非生き物)·조립주택(組立式住宅, 具体名詞, 火生き物)조 93/10/07, 31 面]

次に無標形において主体として非生き物が現れ, 有標形において主体として生き物と非生き物が現れ, 客体として非生き物が現れる一連の動詞のペアである. その動詞のペアには녹다(とける)-녹이다(と카す)が含まれる. 以下がその例である.

(52) 속이 녹는다.²²⁾ (しよげる.) 사랑 2, p. 349

(53) 언 땅이 녹는다.²²⁾ (凍った地が解ける.) 조 93/04/26, 1 面

(54) 그 갈둥이 녹는다.²²⁾ (その葛藤がとける.) 조 93/03/13, 14 面

(55) (사람)이 버터를 녹인다.²²⁾ (人がバターをと카す.) 조 94/10/21, 35 面

(56) 그는 마산과 제주에서 노한 김영삼대표의 마음을 녹인다.²²⁾ (彼はマサンとチェジュで立腹したキムヨンサムの心をやわらげる.) 조 93/04/07, 2 面

(57) 어머니가 시뻘정계 얼고 붙어터진 손을 녹인다.²²⁾ (母が真っ赤に凍え裂けた手を温める.) 겨 p. 15

(58) 중국은 변방문화를 녹인다.²²⁾ (中国は辺境文化を融解する.) 조 93/03/07, 7 面

(59) 이 산이 지속적으로 치아를 녹인다.²²⁾ (この酸が持続して歯をと카す.) 조 94/07/03, 17 面

(60) 지구온난화가 빙하를 녹인다.²²⁾ (地球温暖化が氷河をと카す.) 조 93/03/13, 14 面

(52)-(54)は無標形の例であり, それぞれ主体として生き物, 非生き物がきており, それに対応する名詞として人の所属物, 具体名詞, 抽象名詞があらわれている. (55)-(60)は有標形の例である. (55)は主体が生き物で客体が非生き物であり, 主体に対応する名詞として人名詞, 客体に対応する名詞として具体名詞が現れている. (56)と(57)は, 主体が生き物, 客体が非生き物で

あり, 主体に対応する名詞として人名詞, 客体に対応する名詞として人の所属物が現れている. 前者と後者の客体に対応する名詞は人の所属物という点で同じであるが, 前者は他人の所属物, 後者は自分の所属物という点で異なる. (58)は主体が生き物, 客体が非生き物であり, 主体に対応する名詞として団体名詞, 客体に対応する名詞として抽象名詞が現れている. (59)と(60)は主体が非生き物で客体が非生き物であり, それぞれに対応する名詞は具体名詞, 具体名詞と抽象名詞, 具体名詞である. 有標形の場合, 動作の主体が動作の客体よりも有生性の高いものがきている場合が多いが, (60)では同じ非生き物同士であっても, 主体に対応する名詞として抽象名詞, 客体に対応する名詞として具体名詞が現れている. このような文が成り立つのは, とかすという動作において, 地球温暖化が氷河よりもとかすという動作を遂行する潜在性がより強いからである. その他の動詞のペアとしては以下のものがある.

(식다(冷める)-식히다(冷ます))

無標形:主体[물(水, 具体名詞, 非生き物)조 94/06/09, 19面, 열기(熱氣, 抽象名詞, 非生き物)조 93/06/18, 5面, 성격(性格, 抽象名詞, 非生き物)조 93/10/14, 1面]

有標形:主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・국물(スープ, 具体名詞, 非生き物)조 93/08/1, 13面, 시민(市民, 人名詞, 生き物)・더위(暑さ, 抽象名詞, 非生き物)조 94/07/14, 31面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・머리(頭, 人の所属物, 非生き物)조 94/01/29, 11面, 중국정부(中国政府, 団体名詞, 生き物)・경기(景氣, 抽象名詞, 非生き物)조 93/07/07, 10面, 기계(機械, 具体名詞, 非生き物)・더위(暑さ, 抽象名詞, 非生き物)조 93/10/28, 19面, 대책(対策, 抽象名詞, 非生き物)・열기(熱氣, 抽象名詞, 非生き物)조 94/01/17, 3面]

(숙다(傾く)-숙이다(下げる))

無標形:主体[고개(首, 人の所属物, 非生き物)소 p. 1119]

有標形:主体・客体[보호자(保護者, 人名詞, 生き物)・고개(首, 人の所属物, 非生き物)조 94/08/17, 19面, 유가(原油価格, 抽象名詞, 非生き物)・고개(首, 所属物, 非生き物)조 94/01/10, 14面]

(일다(起こる)-일으키다(起こす))

無標形:主体[파도(波, 具体名詞, 非生き物)조 93/08/10, 31面, 여운(余韻, 抽象名詞, 非生き物)조 93/06/13, 5面]

有標形:主体・客体[유효순씨(ユヒヨスン氏, 人名詞, 生き物)・몸(体, 人の所属物, 非生き物)조 93/06/28, 29面, 공사장(工事現場, 団体名詞, 生き物)・먼지공해(ほこり公害, 抽象名詞, 非生き物)조 93/02/13, 2面, 피로물질(疲労物質, 具体名詞, 非生き物)・근육통(筋肉痛, 抽象名詞, 非生き物)조 93/07/09, 19面, 환경변화(環境変化, 抽象名詞, 非生き物)・질환(疾患, 抽象名詞, 非生

き物) 조 93/01/01, 19 面]

次に無標形の場合，動作の主体として非生き物が現れ，有標形の場合，動作の主体として生き物，動作の客体として非生き物が現れる一連の動詞のペアを見ることにする．その動詞のペアとしては，늘다(増える)-늘리다(増やす)がある．以下にその例を示すことにする．

(61)85 년 1 백 11 만 3 천대에 불과하던 자동차는 지난해말 4 백 72 만 2 천대로 4 배이상 늘다.²²⁾ (85 年 111 万 3 千台に過ぎなかった自動車は昨年末 472 万 2 千台に 4 倍以上増える.) 조 93/01/05, 1 面

(62)나라가 어지러울 때 범죄가 늘다. (国が慌しい時，犯罪が増える.) 조 94/04/22, 1 面

(63)(…省略) 카스트로는 대도시의 절전시간을 하루 4 시간에서 8 시간으로 늘린다.²²⁾ ((…省略)カストロは大都市の節電時間を一日 4 時間から 8 時間に増やす.) 조 93/01/11, 6 面

(64)아시아나 항공은 오는 7 월 1 일부터 서울~뉴욕 노선을 주 2 회에서 5 회로 늘린다. (아시아나航空は来る 7 月 1 日からソウル~ニューヨーク路線を週 2 回から 5 回に増やす.) 조 93/01/05, 1 面

(61)の主体は非生き物でそれに対応する名詞として具体名詞が現れ，(62)の主体も非生き物でそれに対応する名詞として抽象名詞が現れている．一方，(63)の主体は生き物，客体は非生き物で，主体に対応する名詞として人名詞，客体に対応する名詞として具体名詞が現れ，(64)の主体は生き物，客体は非生き物で，主体に対応する名詞として団体名詞，客体に対応する名詞として具体名詞が現れている．有標形の場合，有生性の高い動作の主体が有生性の低い動作の客体に動作が移行している．その他の動詞のペアとしては以下のものがある．

(달다(火照る)-달이다(煮詰める))

無標形:主体[얼굴(顔, 人の所属物, 非生き物) 소 p. 456, 쇠(鉄, 具体名詞, 非生き物) 소 p. 456]

有標形:主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・한약(漢方薬, 具体名詞, 非生き物)겨 p. 58]

(묻다(つく)-묻히다(つける))

無標形:主体[잉크(インク, 具体名詞, 非生き物)배 p. 174]

有標形:主体・客体[당신(あなた, 人名詞, 生き物)・피(血, 具体名詞, 非生き物) 조 93/09/14, 7 面]

(비다(空く)-비우다(空ける))

無標形:主体[테이블(テーブル, 具体名詞, 非生き物)무 p. 146]

有標形:主体・客体[대통령(大統領, 人名詞, 生き物)・청와대(青瓦台, 具体名詞, 非生き物)조 94/05/31, 3面, 그들(彼ら, 人名詞, 生き物)・소주(燒酎, 具体名詞, 非生き物)그 p. 331]

(새다(明ける)-새우다(明かす))³¹⁾

無標形:主体[밤(夜, 抽象名詞, 非生き物)코 p. 472]

有標形:主体・客体[대학생(大学生, 人名詞, 生き物)・밤(夜, 抽象名詞, 非生き物)조 94/11/13, 27面]

(아물다(癒える)-아물리다(癒す))³²⁾

無標形:主体[상처(傷跡, 具体名詞, 非生き物)조 93/12/29, 30面]

有標形:主体・客体[사람(人, 人名詞, 生き物)・상처(傷, 具体名詞, 非生き物)【作例】], 정부(政府, 人名詞, 生き物)・상처(傷, 具体名詞, 非生き物)【作例】]

(피다(おこす)-피우다(おこる))³³⁾

無標形:主体[불(火, 具体名詞, 非生き物)코 p. 889]

有標形:主体・客体[나(私, 人名詞, 生き物)・담배(たばこ, 具体名詞, 非生き物)조 94/09/06, 2面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・냄새(匂い, 抽象名詞, 非生き物)조 94/08/07, 5面]

(흐르다(流れる)-흘리다(流す))

無標形:主体[강물(川の水, 具体名詞, 非生き物)조 93/01/01, 1面, 분위기(雰囲気, 抽象名詞, 非生き物)조 93/01/30, 3面]

有標形:主体・客体[나(私, 人名詞, 生き物)・땀(汗, 具体名詞, 非生き物)조 93/09/13, 21面, 검찰(檢察, 人名詞, 生き物)・내부방침(内部方針, 抽象名詞, 非生き物)조 93/05/22, 27面, 나무(木, 植物, 生き物)・피(血, 具体名詞, 非生き物)조 93/05/20, 5面]

最後に, 젓다(反る)-젓히다(反らす)について言及することにする. 젓다(反る)について, 小学館・金星出版社共同編集(1993:1552)では, 形容詞との言及があり, 연세대학교 언어정보개발연구원 편(1998)にはその記述すらなかった. それ故, ここでは, 有標形である젓히다(反らす)についてのみ言及することにする.

젓히다(反らす)は以下に示すように, 動作の主体として生き物, 非生き物が現れ, 動作の客体として生き物, 非生き物が現れる. それぞれに対応する名詞は, 人名詞と人の所属物(例文(65)), 人名詞と具体名詞(例文(66)), 団体名詞と団体名詞(例文(67)), 人名詞と団体名詞(例文(68)), 具体名詞が具体名詞(例文(69))である.

(65) 헤완은 얼굴을 뒤로 젓힌다.²²⁾(ヘワンは顔を後に反らす.) 무 p. 73

(66) 시이트 젓힌다.²²⁾(シートをめくる.) 사랑 1, p. 141

(67)99 년 시베리아 개발권이 일본을 짓히고 한국에 돌아온다.(99 年, シベリア 開発権が日本を押し開けて, 韓国にかえる.) 조 93/08/21, 13 面

(68)일부 인사들은 당을 짓힌다.²²⁾(一部の人士達は党を押し開ける.) 조 94/02/28, 25 面

(69)K-200 장갑차는 끝까지 경합을 벌인 터키제품을 결국 짓히고 최후의 승자가 됐다고 한다.(K-200 装甲車は最後まで競合を繰り広げたトルコ製品を結局押し開けて, 最後の勝者になったと言う.) 조 93/12/11, 31 面

以上がヴォイス接尾辞を伴い, 自動詞から他動詞に派生する動詞群の考察である. ②類の動詞のペアを考察した結果を表に示すと, 以下ようになる. 今まで見てきたように, 無標形の動詞を含む文では, 動作の主体として生き物から非生き物まで様々なものがくることができる. たとえ, 動作の主体に生き物であろうが, 非生き物であろうが, その動作を遂行することができる潜在性を持ち, その動作はその主体の中で完結している. 一方, 有標形の動詞を含む文では, 動作の主体が動作の客体よりも有生性が高いものがくる傾向にある. しかしながら, 考察した動詞のペアの中には動作の主体が動作の客体よりも有生性が低いものがきているものもあった. それを示すと, 次のようになる. 죽이다に1つの例, 깨우다に1つの例, 살리다に1つの例, 속이다に1つの例, 비추다に1つの例, 지우다に1つの例があり, それらを合わせて6例が現れている. これは以下に示す表からもわかることである. ただし, これの例は Klaiman(1991)で規定された逆行受動の概念に相反するものである. その概念とは, 動作の客体が動作の主体よりも有生性が低いにも関わらず, それが文の主語の位置にあれば, 動詞の語幹に何らかの標示がくるというものであった. しかしながら, ここで取り扱ったのは自動詞から他動詞に派生する動詞群であるので, Klaiman(1991)の議論と必ずしも一致するとは限らないのである. 更にこれらの例では動作の主体が非生き物で動作の客体が生き物であっても, 主体にその動作を遂行できる潜在性があれば, そのような文が成立すると考えることができる. 本稿では속이다-속이다の考察結果をこの表に含めているので, 無標形の考察結果に動作の主体と動作の客体どちらも現れる欄があるのである.

②類		数
主体		
人名詞, 生き物		27
団体名詞, 生き物		13
動物・植物, 生き物		9
人の所属物, 非生き物		10

無 標 形	具体名詞, 非生き物		33
	抽象名詞, 非生き物		32
	主体	客体	
	人名詞, 生き物	人名詞, 生き物	1
	団体名詞, 生き物	人名詞, 生き物	1
	具体名詞, 非生き物	団体名詞, 生き物	1
	抽象名詞, 非生き物	人名詞, 生き物	1
合計			128
有 標 形	主体	客体	
	人名詞, 生き物	人名詞, 生き物	8
		団体名詞, 生き物	2
		所属物, 非生き物	17
		具体名詞, 非生き物	33
		抽象名詞, 非生き物	20
	団体名詞, 生き物	人名詞, 生き物	2
		団体名詞, 生き物	4
		所属物, 非生き物	1
		具体名詞, 非生き物	9
		抽象名詞, 非生き物	19
	動物・植物, 生き物	動物・植物, 生き物	1
		所属物, 非生き物	1
		具体名詞, 非生き物	2
		抽象名詞, 非生き物	1
	具体名詞, 非生き物	人名詞, 生き物	2
		具体名詞, 非生き物	8
		抽象名詞, 非生き物	10
	抽象名詞, 非生き物	人名詞, 生き物	1
		団体名詞, 生き物	3
		所属物, 非生き物	1
		具体名詞, 非生き物	3
		抽象名詞, 非生き物	10
主体	その他	客体	
人名詞, 生き物	人名詞, 生き物	抽象名詞, 非生き物	1
合計			159

表 7. ②類動詞のペアを考察した結果

次に他動詞から派生する動詞群のうち, ヴォイス接尾辞を伴い, 他動詞から自動詞に派生する動詞群を考察することにする。

4. 2. ⑦類の考察

ここでは, ヴォイス接尾辞を伴い, 他動詞から自動詞に派生する動詞群(⑦類)を考察することにする. この動詞群に属する 24 個の動詞のペアを動作の主体と動作の客体が生き物か非生き物かという観点によって整理すると以下のようになる.

無標形		有標形		それに属する動詞のペア ²¹⁾
主体	生き物, 非生き物	主体	生き物, 非生き物	가르다, 모으다, 바꾸다, 찌르다, 흔들다(5 個)
客体	生き物, 非生き物			
主体	生き物, 非生き物	主体	非生き物	막다, 풀다(2 個)
客体	生き物, 非生き物			
主体	生き物, 非生き物	主体	生き物, 非生き物	걸다, 맺다, 아우르다(3 個)
客体	非生き物			
主体	生き物, 非生き物	主体	非生き物	거스르다, 달다, 신다, 트다(4 個)
客体	非生き物			
主体	生き物	主体	生き物, 非生き物	가두다, 팔다(2 個)
客体	生き物, 非生き物			
主体	生き物	主体	非生き物	꺾다(1 個)
客体	生き物, 非生き物			
主体	生き物	主体	生き物, 非生き物	매달다, 섞다, 아우르다, 잠그다(4 個)
客体	非生き物			
主体	生き物	主体	非生き物	닫다, 듣다, 뜨다(開)(3 個)
客体	非生き物			
計				24 個

表 8. ⑦類の動詞のペアにおいて動作の主体と客体が生き物か非生き物かによって分類した表

まず, 無標形を含む文において動作の主体として生き物, 非生き物, 動作の客体として生き物, 非生き物, 有標形を含む文において動作の主体として生き物, 非生き物が現れる一連の動詞のペアから見ることにする. この動詞のペアには, 가르다(分ける)-갈리다(分かれる)がある. 以下はその動詞の例文である.

(70) 어떤 사람이 다른 사람들을 보수와 진보로 가른다²²⁾. ((ある人が)他の人たち

を保守と革新に分ける.) 조 94/07/16, 3 面

(71) 지폐가 충분히 물을 먹으면 칼로 네 귀퉁이를 양쪽으로 가른다. (紙幣が十分に水を含めば, 刀で四つの隅を両側に断つ.) 조 94/05/15, 26 面

(72) (…省略…) 두 강자가 코리아네트에서 승부를 가른다. (2 人の強者が 코리아네트で勝負を分ける.) 조 94/06/28, 35 面

(73) 2t 을 싣고도 최고속도는 70 노트(시속 약 1 백 30km)로 바다를 가른다. (2t を載せてもなお最高速度は 70 ノット(時速約 130 キロ)で海をかきわける.) 조 93/01/07, 14 面

(74) 변수가 승패를 가른다²²⁾. (変数が勝敗を分ける.) 조 94/11/12, 7 面

(75) 주범과 중범이 갈린다. (主犯と従犯が分かれる.) 조 94/02/03, 2 面

(76) 이들을 보는 당내 민주계의 시각도 갈린다. (彼らを見る党内民主系の視覚も分かれる.) 조 94/11/14, 4 面

(70)-(74)は無標形を含む文であり, (75)-(76)は有標形を含む文である. (70)-(72)は主体が生き物であり, 客体が生き物と非生き物である. それぞれに対応する名詞は人名詞と人名詞(例文(70)), 人名詞と具体名詞(例文(71)), 人名詞と抽象名詞(例文(72))である(例文(71)では, 動作の主体を特定することができ, その主体を生き物と見做して考察した). また, (73)-(74)の動作の主体は非生き物, 動作の客体も非生き物である. それぞれに対応する名詞は抽象名詞と具体名詞(例文(73)), 抽象名詞と抽象名詞(例文(74))である. 例文(73)のように有生性が低い非生き物から有生性が高い非生き物へ動作が移行しているのは, 有生性の高さや低さを問わず, 速度が海に分ける動作を遂行する時, その潜在性を発揮できるからである. 一方, 有標形を含む文である(75)と(76)における動作の主体は生き物, 非生き物であり, それぞれに対応する名詞は人名詞, 抽象名詞である. その他の動詞のペアは以下に提示することにする.

(모으다(集まる)-모이다(集める))

無標形: 主体・客体[직원(職員, 人名詞, 生き物)・용기(容器, 具体名詞, 非生き物) 조 93/08/23, 27 面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・관심(関心, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/10, 2 面, 민주당(民主党, 団体名詞, 生き物)・힘(力, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/04/18, 3 面, 연극(演劇, 具体名詞, 非生き物)・관객(観客, 人名詞, 生き物) 조 93/07/23, 15 面, 합의(合意, 抽象名詞, 非生き物)・관심(関心, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/09, 12 面]

有標形: 主体[가족(家族, 団体名詞, 生き物) 조 93/02/11, 16 面, 노인용 상품(老人用商品, 具体名詞, 非生き物) 조 93/07/09, 19 面, 관심(関心, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/04/04, 23 面]

(바꾸다(かえる)-바뀌다(かわる))

無標形: 主体·客体 [김 대통령 (キム大統領, 人名詞, 生き物)·안기부장 (公安部長, 人名詞, 生き物) 조 94/12/10, 2 面, 젊은이 (若者, 人名詞, 生き物)·헤어스타일 (ヘアースタイル, 具体名詞, 非生き物) 조 94/10/21, 5 面, 클린턴 (クリントン, 人名詞, 生き物)·계획 (計画, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/19, 5 面, 그룹 (グループ, 団体名詞, 生き物)·이름 (名前, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/05, 10 面, 북한 (北朝鮮, 団体名詞, 生き物)·태도 (態度, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/03/27, 5 面, 세균 (細菌, 細菌, 生き物)·모습 (姿, 具体名詞, 非生き物) 조 94/10/02, 17 面, 쓰레기줄이기 (ゴミ減らし, 具体名詞, 非生き物)·생활습관 (生活習慣, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/03/29, 19 面, 일련의 과정 (一連の過程, 抽象名詞, 非生き物)·의식 (意識, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/08/25, 4 面]

有標形: 主体 [사람 (人, 人名詞, 生き物) 조 93/02/13, 3 面, 신문사 (新聞社, 団体名詞, 生き物) 조 93/05/22, 5 面, 모자 (帽子, 具体名詞, 非生き物) 조 93/07/28, 6 面, 역사 (歴史, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/02/26, 3 面]

(찌르다 (刺す)- 찔리다 (刺さる))³⁴⁾

無標形: 主体·客体 [강씨 (カン氏, 人名詞, 生き物)·얼굴 (顔, 人の所属物, 非生き物) 조 94/02/06, 19 面, 김일성 (金日成, 人名詞, 生き物)·의표 (意表, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/04/21, 5 面, 벌 (蜂, 虫, 生き物)·온몸 (体全体, 人の所属物, 非生き物) 조 94/12/27, 5 面, 총구 (銃口, 具体名詞, 非生き物)·왼쪽눈 (左目, 人の所属物, 非生き物) 조 94/11/18, 19 面, 말 (言葉, 抽象名詞, 非生き物)·하늘 (空, 具体名詞, 非生き物) 조 93/04/24, 5 面, 냄새 (におい, 抽象名詞, 非生き物)·코 (鼻, 人の所属物, 非生き物) 조 93/02/04, 28 面, 개혁안 (改革案, 抽象名詞, 非生き物)·허 (虚, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/03/17, 5 面]

有標形: 主体 [객실승무원 (客室乗務員, 人名詞, 生き物) 조 93/04/22, 6 面, 눈 (目, 人の所属物, 非生き物) 조 94/11/18, 19 面]

(흔들다 (揺らす)- 흔들리다 (揺れる))

無標形: 主体·客体 [의원 (議員, 人名詞, 生き物)·총리 (總理, 人名詞, 生き物) 조 93/12/19, 4 面, 관광객 (觀光客, 人名詞, 生き物)·손 (手, 人の所属物, 非生き物) 조 93/05/31, 2 面, 主体의 明示なし (人名詞, 生き物)·나무가지 (木の枝, 具体名詞, 非生き物) 조 93/07/28, 31 面, 민주당 (民主党, 団体名詞, 生き物)·민자당 내부 (民自党内部, 団体名詞, 生き物) 조 93/10/26, 5 面, 비행기 (飛行機, 具体名詞, 非生き物)·날개 (翼, 具体名詞, 非生き物) 조 93/11/03, 31 面, 정치 포기선언 (政治放棄宣言, 抽象名詞, 非生き物)·마음 (心, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/11, 3 面]

有標形: 主体 [사람 (人, 人名詞, 生き物) 조 93/10/28, 6 面, 섬유산업 (纖維産業, 団体名詞, 生き物) 조 94/06/22, 15 面, 몸 (体, 人の所属物, 非生き物) 조 94/11/18, 19 面, 새마을호 (セマウル号, 具体名詞, 非生き物) 조 93/04/01, 1 面, 경쟁력 (競争力, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/10/14, 1 面]

가르다-갈리다から흔들다-흔들리다までの結果を見ても、無標形を含む文では、動作の主体である生き物から動作の客体である非生き物に動作が移行することが多く、動作の主体である非生き物から動作の客体である生き物に動作が移行することがほとんどない(無標形の場合、全体のうち動作の主体が生き物、動作の客体が非生き物の割合が 31 例中 15 例で 48.4%と最も高い)。また、演劇や映画等が動作の主体である時は、実際にその動作を行っているのは、演劇や映画ではなくて、その後に隠れている複数の人たちであるので、それに対応する名詞は具体名詞と見做すのではなく、人名詞や団体名詞とするのが適当である(動作の主体が非生き物、動作の客体が生き物の割合が 31 例中 1 例で 3.2%と最も低い)。

次の動詞のペアは、無標形を含む文において動作の主体として生き物、非生き物、動作の客体として生き物、非生き物が現れるのに対し、有標形を含む文において動作の主体として非生き物が現れるものである。その動詞のペアとしては、막다(ふさぐ)-막히다(ふさがる)がある。以下はその動詞のペアの例文である。

(77) 혜완은 토할 것만 같아 급히 한 손으로 입을 막는다²²⁾. (ヘワンは吐きそう
で、急に片手で口をふさぐ。) 무, p. 144

(78) (사람이) 결손부위를 막는다²²⁾. ((人が)欠損部位をふさぐ。) 조 94/02/07, 23 面

(79) (사람이) 오염을 막는다²²⁾. ((人が)汚染をふせぐ。) 조 94/02/28, 29 面

(80) 병원에서는 환부의 균을 채취, 균배양검사를 하기 때문에 이런 오진을 막는다. (病院では患部の菌を採取, 菌培養検査をするので、このような誤診をふせぐ。) 조 93/09/13, 23 面

(81) 25 층짜리 고층 아파트가 그대로 주저앉았고 부근은 새끼줄을 쳐서 주민들의 출입을 막는다²²⁾. ((25 階建の高層アパートがそのまま崩れ, 付近は縄ひもをはり, 住民たちの出入りをふさぐ。) 조 93/10/20, 6 面

(82) 로션 크림이 살비듬이나 가려움증을 막는다²²⁾. (ローションクリームが皮膚のあれやかゆみをふせぐ。) 조 93/11/01, 23 面

(83) 그러나 이 즈음에는 데모가 없는데도 하루종일 아무데서나 길이 막힌다. (しかし、この頃はデモがないにも関わらず、一日中どこでも道が混む。) 조 94/01/18, 1 面

(84) 경치가 앞 사람에게 막힌다²²⁾. ((光景が)前の人に遮られる) 소, p. 648

(77)-(82)は無標形を含む文であり、(83)-(84)は有標形を含む文である。(77)-(80)は動作の主体が生き物であり、動作の客体が非生き物である。それぞれに対応する名詞は人名詞と人の所属物(例文(77)), 人名詞と具体名詞(例文(78)), 人名詞と抽象名詞(例文(79)), 団体名詞と抽象名詞(例文(80))である。(81)-(82)は動作の主体が非生き物であり、動作の客体も非生き物である。それぞれに対応する名詞は具体名詞と具体名詞(例文(81)), 具体名詞と抽象

名詞(例文(82))である。一方, (83)の動作の主体は非生き物であり, それに対応する名詞は具体名詞である。また, (84)のように막히다(ふさがる)は動作の主体(生き物で対応する名詞は人名詞)と動作の客体(非生き物で対応する名詞は抽象名詞)が現れて, 受動を意味する場合もある。ただし, 母語話者の方からこの文単独では容認しがたく, ‘경치가 앞 사람에게 막혀서 안 보인다(景色が前の人に遮られて, 見えない).’ という文であれば, より文法的であるという指摘を受けた。本稿では, ヴォイス接尾辞を伴う動詞がどのような語尾を伴って現れるかについては考察することはしないが, このような点も現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を考察する上で重要な位置を占めると考えている。このような観点からの考察は今後の課題である。以上の点を踏まえると, 막히다には自動の意味だけでなく, 受動の意味も認めるのが適当である。以上の結果から, 無標形を含む文において, 動作の客体が動作の主体よりも有生性が高いものがこないという Klaiman(1991)の見解に一致することがわかる。

その他の動詞のペアとしては以下のものがある。

(풀다(解く)-풀리다(解ける))

無標形: 主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・사람(人, 人名詞, 生き物)사 p. 257, 전원(全員, 人名詞, 生き物)・몸(体, 人の所属物, 非生き物)조 93/03/08, 9面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・여장(旅装, 具体名詞, 非生き物)조 94/09/25, 9面, 김원장(キム院長, 人名詞, 生き物)・제한(制限, 抽象名詞, 非生き物)조 93/04/06, 21面, 각국(各国, 団体名詞, 生き物)・경제제재(經濟制裁, 抽象名詞, 非生き物)조 94/01/31, 4面, 결과(結果, 抽象名詞, 非生き物)・의혹(疑惑, 抽象名詞, 非生き物)조 93/07/10, 3面]

有標形: 主体[얼굴(顔, 人の所属物, 非生き物)사 p. 86, 자물쇠(錠, 具体名詞, 非生き物)조 93/03/09, 19面, 의문(疑問, 抽象名詞, 非生き物)조 93/07/09, 5面]

次の動詞のペアは無標形を含む文において動作の主体として生き物, 非生き物, 動作の客体として非生き物が現れるのに対し, 有標形を含む文において動作の主体として生き物, 非生き物が現れるものである。その動詞のペアとしては, 걸다(かける)-걸리다(かかる)がある。以下はその動詞のペアの例文である。

(85) 사람들이 지나다니는 길쪽 유리창을 골라 큼직한 리스나 크리스마스 트리에 다는 각종 장식품을 걸다. (人々が往来する道側の窓ガラスを選び, 大振のリースやクリスマスツリーにかける各種装飾品をかける。) 조 94/12/04, 35面

(86) 그가 승부를 걸다²²⁾. (彼が勝負をかける。) 조 93/08/06, 21面

(87) 여기에 한국은행이 시행날짜를 다음날인 27 일로 해야 한다고 제동을

건다²²⁾. (ここに韓国銀行が施行日時を次の日である 27 日にしなければならないとブレーキをかける.) 丕 93/01/26, 2 面

(88) 컴퓨터가 생활혁명의 시동을 건다. (コンピューターが生活革命のエンジンをかける.) 丕 94/09/27, 33 面

(89) 그는 신경쓰는 일이 있을 때면 곧잘 감기에 걸린다²²⁾. (彼は気をつかうことがある時かならず風邪をひく.) 丕 93/03/31, 2 面

(90) 야당은 바로 이 덫에 걸린다²²⁾. (野党はまさにこのわなにかかる.) 丕 93/08/06, 21 面

(91) 깃발이 걸린다. (旗がかかる.) 丕 93/02/14, 11 面

(92) 한참 시간이 걸린다. (たいそう時間がかかる.) 丕 93/01/07, 6 面

(93)²⁾ 초상화가 (그 사람에 의하여) 벽에 걸린다²²⁾. (肖像画がその人によってかけられる.) 丕, p. 92

(85)-(88)は無標形を含む文であり, (89)-(93)は有標形を含む文である. (85)-(87)の動作の主体は生き物であり, 動作の客体は非生き物である. それぞれに対応する名詞は, 人名詞と具体名詞(例文(85)), 人名詞と抽象名詞(例文(86)), 団体名詞と具体名詞(例文(87))である. (88)の動作の主体は非生き物であり, 動作の客体は非生き物である. それぞれに対応する名詞は具体名詞と具体名詞である. (89)-(90)の動作の主体は生き物であり, それに対応する名詞は人名詞, 団体名詞であり, (91)-(92)の動作の主体は非生き物であり, それに対応する名詞は具体名詞, 抽象名詞である. ただし, (93)のような受動文は容認しがたいという母語話者の方の指摘があった. この例文そのものは小学館から出ている『朝鮮語辞典』の例文を書き換えたものである. その辞書には, ‘벽에 걸린 초상화(壁にかかった肖像画)’ という連体形を伴っている形で受動の意味を表すと記述されている. かけるという動作の主体が初めて, 肖像画がかかるという状態が成立するが, この文は動作の主体が現れず, かけられるという動作そのものの状態だけを表すものである. 本稿では, ヴォイス接尾辞を伴った形が連体形か非連体形かという観点から考察することはしないが, 現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を考える上で, この議論は避けては通れないものだと考えている. 今後の課題であると言える.

その他の動詞のペアとしては以下のものがある.

(맺다(結ぶ)-맺히다(結ばれる))

無標形: 主体・客体 [그(彼, 人名詞, 生き物)・결실(結実, 具体名詞, 非生き物) 丕 93/06/25, 17 面, 그(彼, 人名詞, 生き物)・인연(因縁, 抽象名詞, 非生き物) 丕 93/02/23, 2 面, 업체(企業体, 団体名詞, 生き物)・묵계(黙契, 抽象名詞, 非生き物) 丕 93/01/13, 1 面, 미국자리공(アメリカヤマゴボウ, 植物, 生き物)・

자색열매 (赤土色の実, 具体名詞, 非生き物) 조 93/10/06, 25 面, 작품 (作品, 具体名詞, 非生き物)·끝 (終わり, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/03/11, 19 面]
 有標形: 主体 [한송이 (花一房, 植物, 生き物) 조 94/01/04, 9 面, 땀 (汗, 具体名詞, 非生き物) 조 93/03/28, 19 面, 말 (言葉, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/12/20, 17 面]

(아우르다 (合わせる)-아울리다 (合う))

無標形: 主体·客体 [그 (彼, 人名詞, 生き物)·주장 (主張, 抽象名詞, 非生き物) 연 p. 12 13, 책 (本, 具体名詞, 非生き物)·현장과 문헌 (現場と文献, 具体名詞, 非生き物) 조 94/06/04, 15 面]

有標形: 主体 [사람 (人, 人名詞, 生き物) 소 p. 1201, 모자 (帽子, 具体名詞, 非生き物) 소 p. 1201]

次の動詞のペアは無標形を含む文において動作の主体として生き物, 非生き物, 動作の客体として非生き物が現れるのに対し, 有標形を含む文において動作の主体として非生き物が現れるものである. その動詞のペアとしては, 거스르다 (さからう)-거슬리다 (ひっかかる) がある. 以下がその例文である.
 (94) 이사윤감사원장은 (…省略…) 법리를 거스른다 ²²⁾. (イサユン 監視院長は (…省略…) 法理にさからう.) 조 93/01/07, 6 面
 (95) 행정규제가 추세를 거스른다 ²²⁾. (行政規制が勢いにさからう.) 조 94/12/15, 2 面
 (96) 잔혹한 장면들이 우리 정서에 거슬린다 ²²⁾. (残酷なシーンが我々の情緒にひっかかる) 조 93/09/02, 18 面

(94)-(95) は無標形を含む文であり, (96) は有標形を含む文である. (94)-(95) の動作の主体は生き物, 非生き物であり, 動作の客体は非生き物である. それぞれに対応する名詞は人名詞と抽象名詞 (例文 (94)), 抽象名詞と抽象名詞 (例文 (95)) である. (96) の動作の主体は非生き物で, それに対応する名詞は抽象名詞である. 他の動詞のペアとしては以下のものがある.

(달다 (かける)-달리다 (かかる))

無標形: 主体·客体 [그 (彼, 人名詞, 生き物)·금배지 (金バッジ, 具体名詞, 非生き物) 조 93/01/19, 2 面, 외교관 (外交官, 人名詞, 生き物)·주석 (注釈, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/12/09, 5 面, 정부 (政府, 団体名詞, 生き物)·부제 (サブタイトル, 具体名詞, 非生き物) 조 93/03/16, 10 面, 지하철 (地下鉄, 具体名詞, 非生き物)·차바퀴 (車輪, 具体名詞, 非生き物) 조 94/02/25, 1 面, 정책 (政策, 抽象名詞, 非生き物)·날개 (翼, 具体名詞, 非生き物) 조 94/01/01, 34 面]

有標形: 主体 [제목 (タイトル, 具体名詞, 非生き物) 조 93/06/14, 12 面, 조건 (条件, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/04/05, 2 面]

(신다 (載せる)-실리다 (載る)) ³⁵⁾

無標形: 主体・客体 [그(彼, 人名詞, 生き物)・몸(体, 人の所属物, 非生き物) 조 93/02/17, 17面, 부장(部長, 人名詞, 生き物)・기사(記事, 具体名詞, 非生き物) 조 93/12/01, 23面, 의원(議員, 人名詞, 生き物)・무게(重さ, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/07/30, 4面, 조선일보(朝鮮日報, 団体名詞, 生き物)・글(文, 具体名詞, 非生き物) 조 94/03/05, 38面, 구조대(救助隊, 団体名詞, 生き物)・시신(死体, 具体名詞, 非生き物) 조 94/10/22, 2面, 시집(詩集, 具体名詞, 非生き物)・사진(写真, 具体名詞, 非生き物) 조 93/10/19, 15面, 전망(展望, 抽象名詞, 非生き物)・무게(重さ, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/19, 4面]

有標形: 主体 [슈퍼컴퓨터(スーパーコンピューター, 具体名詞, 非生き物) 조 94/04/18, 9面, 화제(話題, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/01, 41面]

(트다(通す)-트이다(通る))

無標形: 主体・客体 [대리(代理, 人名詞, 生き物)・거래(取引, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/10/04, 9面, 회사(会社, 団体名詞, 生き物)・길(道, 具体名詞, 非生き物) 조 93/02/20, 12面]

有標形: 主体 [가슴(胸, 人の所属物, 非生き物) 조 93/01/08, 15面, 길(道, 具体名詞, 非生き物) 조 93/07/21, 3面, 거래(取引, 抽象名詞, 非生き物) 한 p. 324]

次の動詞のペアは無標形を含む文において動作の主体として生き物, 動作の客体として生き物, 非生き物が現れるのに対し, 有標形を含む文において動作の主体として生き物, 非生き物が現れるものである. その動詞のペアとしては, 가두다(閉じ込める)-감히다(閉じ込められる)がある. 以下はその例文である.

(97) 김씨등은 L 모씨를 가둔다²²⁾. (キム氏等は L 某氏を閉じ込める.) 조 94/07/30, 29面

(98) 김일성 추종세력이 김정일을 가둔다²²⁾. (金日成の追従勢力が金正日を閉じ込める.) 조 94/08/06, 6面

(99) 북한이 물을 가둔다²²⁾. (北朝鮮が水をためる.) 조 93/06/17, 5面

(100) 선생님은 철창에 갇힌다²²⁾. (先生は刑務所に閉じ込められる.) 조 93/07/02, 17面

(101) 차량 수십대가 눈 속에 갇힌다²²⁾. (車両数十台が雪の中に閉じ込められる.) 조 93/03/25, 7面

(102) 우리의 8월 광복은 아직도 기념식장에 갇힌다²²⁾. (我々の8月光復はまだ記念式場に閉じ込められる.) 조 94/08/26, 2面

(97)-(99)は無標形を含む文であり, (100)-(102)は有標形を含む文である. (97)-(99)の動作の主体はいずれも生き物であり, 動作の客体は生き物と非生き物である. それぞれに対応する名詞は人名詞と人名詞(例文(97)), 団体名

詞と人名詞(例文(98)), 団体名詞と具体名詞(例文(99))である. 一方, (100)-(102)の動作の主体は生き物と非生き物であり, それぞれに対応する名詞は, 人名詞(例文(100)), 具体名詞(例文(101)), 抽象名詞(例文(102))である. その他の動詞のペアとしては以下のものがある.

(팔다(売る)-팔리다(売れる))

無標形:主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・백성(民, 人名詞, 生き物)조 93/05/17, 4面, 매춘부(売春婦, 人名詞, 生き物)・몸(体, 人の所属物, 非生き物)조 94/09/06, 6面, 그의 아내(彼の妻, 人名詞, 生き物)・집(家, 具体名詞, 非生き物)조 93/03/24, 5面, 동독(東ドイツ, 団体名詞, 生き物)・무기(武器, 具体名詞, 非生き物)조 93/06/15, 6面]

有標形:主体[남자, 여자(男, 女, 人名詞, 生き物)조 93/08/29, 1面, 물건(物, 具体名詞, 非生き物)조 94/05/05, 2面]

次に, 無標形を含む文において動作の主体として生き物, 動作の客体として生き物, 非生き物が現れるのに対し, 有標形を含む文において動作の主体として非生き物が現れる動詞のペアを見ることにする. この動詞のペアは 꺾다(折る)-꺾이다(折れる)しかない. その考察結果を示すと以下のようになる.

(꺾다(折る)-꺾이다(折れる))

無標形:主体・客体[그(彼, 人名詞, 生き物)・자민당후보(自民党候補, 人名詞, 生き物)조 94/04/27, 2面, 권씨(クオン氏, 人名詞, 生き物)・뜻(意志, 抽象名詞, 非生き物)조 93/05/13, 31面, 한국(韓国, 団体名詞, 生き物)・일본(日本, 団体名詞, 生き物)조 94/01/17, 30面, 미국(アメリカ, 団体名詞, 生き物)・회담전략(会談戦略, 抽象名詞, 非生き物)조 93/06/19, 4面, 할미꽃(オキナグサ, 植物, 生き物)・고집(固執, 抽象名詞, 非生き物)조 93/06/13, 5面]

有標形:主体[그의 투지(彼の闘志, 抽象名詞, 非生き物)조 93/07/16, 4面]

次の動詞のペアは無標形を含む文において動作の主体として生き物, 動作の客体として非生き物が現れるのに対し, 有標形を含む文において動作の主体が生き物, 非生き物が現れるものである. その動詞のペアとしては, 매달다(ぶらさげる)-매달리다(ぶらさがる)がある. その動詞のペアの例は以下に示す通りである.

103) 사장은 가슴에 리본을 매달다 ²²⁾. (社長は胸にリボンをぶらさげる.) 조 93/04/23, 11面

- 104) 혜완은 다시 한 번 그에게 매달린다 ²²⁾. (ヘワンはもう一度彼にすぎる.) 무, p. 129
- 105) 그후 수사팀은 한달 가까이 고된 수표추적 사업에 매달린다 ²²⁾. (その後, 捜査チームは1ヶ月近くつらい小切手追跡作業にかかりにきりになる.) 조 93/05/20, 5面
- 106) 사진이 매달린다 ²²⁾. (写真がぶらさがる.) 조 94/03/17, 2面
- 107) 변혁이 거기 매달린다 ²²⁾. (変革がそこにぶらさがる.) 우, p. 67

(103)は無標形を含む文であり, (104)-(107)は有標形を含む文である. (103)の動作の主体は生き物, 動作の客体は非生き物であり, それぞれに対応する名詞は人名詞, 具体名詞である. (104)-(107)の動作の主体は生き物, 非生き物であり, それぞれに対応する名詞は人名詞(例文(104)), 団体名詞(例文(105)), 具体名詞(例文(106)), 抽象名詞(例文(107))である. その他の動詞のペアには以下のものがある.

(섞다(混ぜる)-섞이다(混ざる))

無標形: 主体・客体[主体の明示なし(人名詞, 生き物)・마요네즈(マヨネーズ, 具体名詞, 非生き物) 조 94/07/27, 18面, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・밝은 전망(明るい展望, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/19, 4面]

有標形: 主体[오총장(オ総長, 人名詞, 生き物) 조 93/02/27, 23面, 연기(煙, 具体名詞, 非生き物) 조 93/05/12, 19面, 기대(期待, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/02/06, 11面]

(아우르다(合わせる)-아울리다(合う))

無標形: 主体・客体[동창생(同窓生, 人名詞, 生き物)・술자리(酒席, 具体名詞, 非生き物) 연 p. 1268, 그들(彼ら, 人名詞, 生き物)・힘(力, 抽象名詞, 非生き物) 연 p. 1268]

有標形: 主体[그(彼, 人名詞, 生き物) 조 93/07/19, 2面, 부츠(ブーツ, 具体名詞, 非生き物) 조 94/11/25, 35面]

(잠그다(つける)-잠기다(浸す))

無標形: 主体[소녀(少女, 人名詞, 生き物)・손(手, 人の所属物, 非生き物) 소 p. 1491, 主体の明示なし(人名詞, 生き物)・빈 병(空き瓶, 具体名詞, 非生き物) 연 p. 1546]

有標形: 主体[그(彼, 人名詞, 生き物) 조 94/10/23, 6面, 서울(ソウル, 団体名詞, 生き物) 조 93/09/01, 4面, 차량 11대(車両11台, 具体名詞, 非生き物) 조 94/05/11, 30面]

最後に無標形を含む文において動作の主体として生き物, 動作の客体として非生き物が現れるのに対し, 有標形を含む文において動作の主体として非生き物が現れる一連の動詞のペアを考察する. その動詞のペアには, 닫다(閉める)-닫히다(閉まる)がある. 以下はその動詞のペアの例である.

- (108) 정씨는 입을 닫는다. (チョン氏は口を閉じる.) 조 93/01/22, 18 面
- (109) 정씨는 문을 닫는다²²⁾. (チョン氏はドアを閉める.) 조 93/09/25, 31 面
- (110) 낮 12 시면 가게는 문을 닫는다. (昼 12 時になれば, 店は閉店する.) 조 93/05/31, 14 面
- (111) 독일의 일반 상점은 오후 6 시면 모두 문이 닫힌다. (ドイツの一般商店は午後 6 時になれば, 全てドアが閉まる.) 조 93/10/30, 1 面
- (112) 문이 바람에 닫힌다²²⁾. (ドアが風で閉まる.) 소, p. 455

(108)-(110)は無標形を含む文であり, (111)-(112)は有標形を含む文である. (108)-(110)の動作の主体は生き物であり, 動作の客体は非生き物である. それぞれに対応する名詞は人名詞と人の所属物(例文(108)), 人名詞と具体名詞(例文(109)), 団体名詞と具体名詞(例文(110))である. (111)の動作の主体は非生き物で, それに対応する名詞は具体名詞である. また, (112)のように動作の主体が風のような自然現象であれば, 動作の客体が閉められるという意味を表す受動文としても成立する. また, 動作の主体として生き物が来る場合には, ‘문이 경비원에게 닫힌다(ドアが警備員に閉められる).’ という文よりも ‘문이 경비원에 의하여 닫힌다(ドアが警備員によって閉められる).’ という文がより適当であるという母語話者の方からの指摘を受けた. 本稿では, 動作の主体や動作の客体の格助詞が何かという観点から考察することはしないが, この観点もやはり現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生を考察する上で重要な役割を果たすものである. このような観点からの考察も今後の課題である. 以上の点を踏まえれば, 닫히다には自動の意味だけでなく, 受動の意味も認めるのが適当である.

その他の動詞のペアは以下のようになる.

(듣다(聞く)-들리다(聞こえる))

無標形: 主体[사람(人, 人名詞, 生き物)·말(言葉, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/01/20, 5 面, 국회(国会, 団体名詞, 生き物)·국정연설(国政演説, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/09/21, 2 面, 개(犬, 動物, 生き物)·소리(音, 抽象名詞, 非生き物) 조 94/01/01, 13 面]

有標形: 主体[의견(意見, 抽象名詞, 非生き物) 조 93/03/17, 11 面]

(뜨다(開ける)-뜨이다(開く))

無標形: 主体[그(彼, 人名詞, 生き物)·눈(目, 人の所属物, 非生き物) 조 93/05/31, 13 面, 유럽(ヨーロッパ, 団体名詞, 生き物)·눈(目, 所属物, 非生き物) 조 94/06/27, 7 面, 뉘꾸기새끼(カッコウの子供, 動物, 生き物)·눈(目, 所属物, 非生き物) 조 93/05/28, 5 面]

有標形: 主体[눈(目, 人の所属物, 非生き物) 소 p. 606]

以上の結果から、ヴォイス接尾辞を伴い、他動詞から自動詞に派生する動詞のペアのうち、他動詞から自動詞、受身形に派生する動詞のペア、つまり本稿で設定した⑬類の動詞群に属する動詞のペアもあった。⑦類の動詞のペアを考察した結果を表に示すと、次のようになる。また、無標形を含む文では、その動作の主体が動作の客体に動作を遂行する時、Klaiman(1991)の見解に従い、有生性の高い生き物から有生性の低い生き物への動作の移行を確認することができた。しかしながら、考察した動詞のペアの中には動作の主体が動作の客体よりも有生性が低いものがきているものも1例あった。その例は모으다に関する例である。逆に、有標形を含む文では、その動作が主体の領域内にとどまり、他のものへの動作の移行を確認することができなかった。

	⑦類		数
	主体	客体	
無 標 形	人名詞, 生き物	人名詞, 生き物	7
		所属物, 非生き物	9
		具体名詞, 非生き物	16
		抽象名詞, 非生き物	17
	団体名詞, 生き物	人名詞, 生き物	1
		団体名詞, 生き物	2
		所属物, 非生き物	1
		具体名詞, 非生き物	8
		抽象名詞, 非生き物	8
	動物・植物, 生き物	所属物, 非生き物	2
		具体名詞, 非生き物	2
		抽象名詞, 非生き物	2
	具体名詞, 非生き物	人名詞, 生き物	1
		所属物, 非生き物	1
		具体名詞, 非生き物	6
		抽象名詞, 非生き物	3
	抽象名詞, 非生き物	所属物, 非生き物	1
		具体名詞, 非生き物	3
		抽象名詞, 非生き物	8
	合計		98
	主体		
	人名詞, 生き物		12
	団体名詞, 生き物		6

有 標 形	動物・植物, 生き物		1
	所属物, 非生き物		5
	具体名詞, 非生き物		18
	抽象名詞, 非生き物		16
	主体	客体	
	人名詞, 生き物	抽象名詞, 非生き物	1
	抽象名詞, 非生き物	具体名詞, 非生き物	1
合計			60

表 9. ⑦類の動詞のペアを考察した結果

4.3. ②類と⑦類の考察結果からわかること

ここでは、先の②類と⑦類の動詞のペアを考察した結果からわかることを整理することにする。

本稿では、現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による派生を①類から⑭類までわけ、その中でも特にヴォイス接尾辞を伴い、自動詞から他動詞に派生する②類とヴォイス接尾辞を伴い、他動詞から自動詞に派生する⑦類を考察した。本稿では、各々の動詞の統辞論について菅野裕臣他編(1991²:1032-1033)で提示されている形態論的特徴を伴う規定を全面的に採用している。また意味論については Klaiman(1991:161-175)で提示している有生性の逆転によってヴォイスの転換が引き起こされるという Klaiman(1991:161-175)の考えに従っている。もう一度 Klaiman(1991:161-175)の言及を整理すれば、現代朝鮮語における他動詞文においてある動作が有生性の高い主体から有生性の低い客体へ移行しているが、その動作の移行が崩れる時、つまり有生性の低い客体から有生性の高い主体に動作が移行する受動文において動詞に特別な標示がされるというものである。ただし、この考えは本稿で分類した⑨類、つまりヴォイス接尾辞を伴い、他動詞から受身形に派生する動詞のペアにしか適用できないものである。Klaiman(1991:161-175)の考えが⑨類や⑫類の一部の動詞ペアにうまく適用できることは崔昌玉(2001a)において証明されていることである。

一方、②類と⑦類の動詞のペアにおいて、この考えがうまく適用できるのだろうか。今までの本稿の考察を通じて、動作の主体や動作の客体の有生性によって、ある程度、うまく説明できることがわかる³⁶⁾。例えば、②類であるが、これらの動詞のペアは無標形が自動を意味し、有標形が他動を意味する。ヴォイス接尾辞を伴うことによって項が一つ増えるので、Klaiman(1991:161-175)の考えにそぐわないように見えるが、実はそうではない。ヴォイス接尾辞は②類の動詞のペアには現代朝鮮語の他動詞文に典型的な、有生性の高い動作の主体から有生性の低い動作の客体への動作の移行

を示す標示になっていると考えれば、この動詞のペアにおけるヴォイス接尾辞の機能はうまく説明できる。

次に、⑦類であるが、これらの動詞のペアは無標形が他動を意味し、有標形が自動を意味する。これは有標形を含む文に2つの項が現れないという点で⑨類の動詞のペアと相違するが、無標形の動詞において有生性の高い動作の主体から有生性の低い動作の客体への動作の移行が見て取れるのに、有標形の動詞においてそれが見えなくなるという点で⑨類の動詞のペアと類似する。ここでのヴォイス接尾辞の機能は②類の時とは逆である。つまり、ヴォイス接尾辞は⑦類の動詞のペアには現代朝鮮語の他動詞文に典型的な動作の移行が崩れていることを示す標示になっている。

また、以下の表は先に考察した②類と⑦類の考察結果に基づくものである(ただし、本稿では、註に示した例外を除いて、考察結果をそのまま反映した形でこの表を作成している)。

自動詞文		数 ³⁷⁾
主体		
	人名詞, 生き物	39(12)
	団体名詞, 生き物	19(6)
	動物・植物, 生き物	10(1)
	人の所属物, 非生き物	15(5)
	具体名詞, 非生き物	51(18)
	抽象名詞, 非生き物	48(16)
合計		182
他動詞文		
主体	客体	
人名詞, 生き物	人名詞, 生き物	15(8)
	団体名詞, 生き物	2(2)
	所属物, 非生き物	26(17)
	具体名詞, 非生き物	49(33)
	抽象名詞, 非生き物	37(20)
団体名詞, 生き物	人名詞, 生き物	3(2)
	団体名詞, 生き物	6(4)
	所属物, 非生き物	2(1)
	具体名詞, 非生き物	17(9)
	抽象名詞, 非生き物	27(19)
動物・植物, 生き物	動物・植物, 生き物	1(1)
	人の所属物, 生き物	3(1)

		具体名詞, 非生き物		4(2)
		抽象名詞, 非生き物		3(1)
	具体名詞, 非生き物	人名詞, 生き物		3(2)
		所属物, 非生き物		1
		具体名詞, 非生き物		14(8)
		抽象名詞, 非生き物		13(10)
	抽象名詞, 非生き物	人名詞, 生き物		1(1)
		団体名詞, 生き物		3(3)
		所属物, 非生き物		2(1)
		具体名詞, 非生き物		6(3)
		抽象名詞, 非生き物		18(10)
	主体	その他	客体	
	人名詞, 生き物	人名詞, 生き物	抽象名詞, 非生き物	1(1)
	合計			257
受動文				
	主体	客体		
	人名詞, 生き物	人名詞, 生き物		1
		団体名詞, 生き物		1
		抽象名詞, 非生き物		1(1)
	具体名詞, 非生き物	団体名詞, 生き物		1
	抽象名詞, 非生き物	人名詞, 生き物		1
		具体名詞, 非生き物		1(1)
合計			6	

表 10. ②類と⑦類の考察結果を整理した表

先の表から次のようなことがわかる.

- ① 自動詞文の場合, その動作の主体として生き物でも非生き物でも現れ, それぞれが出現する割合は 37.4% (68 個) と 62.6% (114 個) である. これは自動詞文においてその動作の主体として生き物と非生き物どちらも現れることを意味している.
- ② 他動詞文の場合, その動作が生き物から非生き物に移行する場合が最も多く, 全体の 65.8% (169 個) を占める. その次は動作が非生き物から非生き物に移行する場合で, 21.0% (54 個) である. 残りの場合を順番にあげると, 動作が生き物から生き物に移行する場合が 10.5% (27 個) であり, 動作が非生き物から生き物に移行する場合が 2.7% (7 個) である. これは他動詞文においてその動作の主体として

生き物, その動作の客体として非生き物が現れる頻度が高いことを意味している. また, この結果から動作の主体が非生き物で動作の客体が非生き物であっても, その動作を遂行する潜在性がその動作の主体にあれば, そのような文が成立することがわかる.

- ③ 受動文の場合は, 絶対的に考察した用例の数が少ないために, 正確な言及はできないが, Klaiman(1991:173)の**쫓다**(追う), **쫓기다**(追われる)の考察では, 動作の主体が生き物で動作の客体が非生き物の場合, それに対応する受動文が存在しないとしている. 本稿の考察でも, このような状況が現れている. ただし, どの動作にもこのような状況が起こるかについては今後の課題である.

以上の結果を踏まえて, 本稿で明らかにしたヴォイス接尾辞の機能について言及することにする. 本稿の意味論的考察を通じて, ヴォイス接尾辞の機能は動作の主体や動作の客体が生き物か非生き物かという観点に依拠する所が少なくないことがわかった. 今までの先行研究においてヴォイス接尾辞を取り得る動詞が限定されており, それを伴う動詞が受身形や使役形だけでなく, 自動詞や他動詞にもなり得るという特徴だけが強調されてきた. また, ヴォイス接尾辞を伴い, 他動詞から受身形に派生する動詞については動作の主体や動作の客体の有生性に依じて, ヴォイス接尾辞が動詞の語幹につくことが指摘されてきた. しかしながら, 本稿では②類と⑦類の動詞のペアを考察した結果, ヴォイス接尾辞はあくまでも他動詞文に典型的な有生性の高い動作の主体から動作の客体への動作の移行が成立したり, 崩れたりする時に動詞の語幹につくことが提示された.

以上の考察結果を踏まえて, 現代朝鮮語において自動詞文, 他動詞文が次のような意味を表すと結論づけることができる.

自動詞文——動作の主体が生き物であろうが, 非生き物であろうが, 動作そのものが動作の主体の範囲内で完結することを意味する場合が多い³⁸⁾.

他動詞文——動作は有生性の高い動作の主体から有生性の低い動作の客体に移行する. ただし, 動作の主体と動作の客体が非生き物同士であれば, 非生き物の中でも有生性が高いものが動作の主体として現れる. また, 有生性の低い非生き物が有生性の高い生き物に動作を行う場合も見受けられるが, それは動作の主体がその動作を行うことができる潜在性があるからである.

5. 今後の課題

本稿では現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生, 特に自動詞から他動詞, 他動詞から自動詞に派生する動詞のペアを動作の主体や動作の客体

が生き物か非生き物か, またそれに対応する名詞は何かという観点から考察した. この考察によって現代朝鮮語のヴォイス接尾辞による動詞の派生に関わる自動詞文, 他動詞文を一旦は意味論的に規定することができた.

今後の課題は以下のものを詳細に考察し記述することである.

- ① ②類の無標形である自動詞と⑦類の有標形である自動詞の意味論的相違や②類の有標形である他動詞と⑦類の無標形である他動詞の意味論的相違を記述する必要がある.
- ② ②類や⑦類の動詞のペアだけでなく他の動詞のペアも考察し, 受動の意味や使役の意味も規定する必要がある.
- ③ 動作の主体や動作の客体が統辞論的に標示される時, 現代朝鮮語では格助詞やとりたて助詞を伴って現れるが, それらとヴォイス接尾辞による動詞の派生との関係がどうなっているかを考察する必要がある.
- ④ ヴォイス接尾辞を伴っていない無標形の動詞やヴォイス接尾辞を伴っている有標形式の動詞が文において非連体形か連体形であるかどうかを考察する必要がある. そしてその関係がヴォイス接尾辞による動詞の派生とどう関わってくるのかという考察もあわせて行う必要がある.

[謝辞] 本稿は 2006 年度千葉大学大学院社会文化科学研究科に提出した博士論文の一部を補筆, 改稿したものである. 本稿を修正するにあたって神田外語大学の浜之上幸先生, 権容璟先生にも多くの貴重なご意見を頂きました. また, 用例を分析するにあたり, 母語話者の김윤정氏, 성도현氏, 이영상氏にもご協力して頂きました.ここに記して感謝申し上げます.

<<用例を収集した文献一覧>>

<新聞>

조선일보 (1993 年, 1994 年の記事から例文を収集し, 略号は초を用いる.)

<小説>

作品名	作者名	出版年	略号
겨울의 환(幻)	김채원	1989	겨
그림자 밟기	오정희	1990	그
당신	김인숙	1993	당
배드민턴 치는 女子	신경숙	1993	배
사람의 아들	李文烈	1979	사
사랑이 뭐길래 1	李秀賢	1992	사랑 1
사랑이 뭐길래 2	李秀賢	1992	사랑 2
小学館・金星出版社	朝鮮語辞典	1993	소

연세 한국어사전	연세대학교 언어 정보개발연구원	1998	연
우리들의 일그러진 英雄	이문열	1987	우
菅野裕臣他編	コスモス朝和辞典	(1991 ² ;1988)	코
하나코는 없다	최윤	1994	하
한국 경제가 죽어도 일본을 못 따라 잡는 18 가지 이유	모모세 타다시	1994	한

<<註>>

1)本稿では, 例文の[?]はその文が文法的と言い難いが容認できることを示し, *はその文が文法的であると認められないことを示す. また, 本稿では, 例文を以下のように示す.

- 1)論文等から引用する場合は, 例文末に何の表示もせずに示す.
- 2)作例した用例を示す場合は, 例文末に作例であることを表示する.
- 3)小説から用例を引用する場合は, 例文末に小説の略字とページを, 新聞から用例を引用する場合は, 例文末に新聞の略字とその記事の日付そしてその記事が掲載されている面を表示する.

また, たとえ原書にその表示がなかったとしても, 本稿では, その動詞は____によって表示し, 動作の主体と動作の客体は_____によって表示することにする.

更に, 本文中に単独で朝鮮語の単語を提示する時は, 本稿では, ()の中にその日本語訳を示すことにする.

2)本稿では, 次の術語を区別することにする. つまり, 受動態に議論を限定するのであれば, 文法範疇としての受動態, 受動態を表す形態素が動詞についた所の受身形, その受身形を含む所の受動文, その受動文が意味する所の受動ということになる. これらの術語は, 能動や使役にも存在する. 下の表は, この術語を整理したものである.

文法範疇	動詞のレベル	文のレベル	意味のレベル
能動態	能動形	能動文	能動
受動態	受身形	受動文	受動
使役態	使役形	使役文	使役

また, 本稿では, 受動動詞, 使役動詞という術語を使わないことにする. というのは, 受動動詞, 使役動詞と言えば, 受動態, 使役態を表す形式を動詞語幹に伴っていないにも関わらず, 受動や使役の意味を持つ動詞であれば, 全て, 受動動詞, 使役動詞と見做され得るという曖昧な解釈ができるからである.

3)現代朝鮮語のヴォイスについて考察した先行研究の中で, 特に菅野裕臣(1982)を概観する理由は, 次の通りである. この研究は, 1)現代朝鮮語のヴォイス形式に形態論, 統辞論, 意味論的観点から接近し, 現代朝鮮語のヴォイスを考察し, 体系化しようとしているからであり, 2)菅野裕臣(1982)の記述は現代朝鮮語のヴォイスに関する先行研究を網羅的に概観しているからである.

- 4) 菅野裕臣(1987:61-64)では, ヴォイス接尾辞として, -이-, -히-, -리-, -기-, -추-, -구-, -우-, -ㅣ우-, -애-, -으키-, -이키-を認め, 語幹末音によってそれらの接尾辞が動詞につくある程度の傾向を示している.
- 5) 本稿で使用する基本語幹等の基本的な文法用語は菅野裕臣(1981), 菅野裕臣他編(1991²)による.
- 6) 菅野裕臣他編(1991²:1033)によれば, 擬似接尾辞とはその直前に-은/-는, -도, -만의ような副助詞を挿入することによって, それ自身自立語のように語幹から分離しうる接尾辞をいうとされている.
- 7) 菅野裕臣他編(1991²:1018)によれば, 補助的な単語を含む2単語以上からなる文法的な形を分析的な形と呼ぶとされている.
- 8) 菅野裕臣(1981:82, 90), 菅野裕臣他編(1991²:1009-1016)では, 用言の語幹そのままの形を第I語基, 子音語幹で-으-が接尾する形を第II語基, -아-/어-が接尾する形を第III語基と呼んでいる.
- 9) 菅野裕臣他編(1991²:1032-33)の自動詞, 他動詞, 受身形, 使役形の定義は次のように示されている.

自動詞…… 動詞のうち対象を表す格語尾-을/-를を取り得ないもの

他動詞…… 動詞のうち対象を表す格語尾-을/-를を取り得るもの

受身形…… 自動詞のうち動作の主体が-에게, -에게서, -로부터/-으로부터, -에 의하여等で表し得るもの, 可能の意味を表し得るもの

使役形…… 他動詞のうち動作の主体が-에, -에게, -로/-으로 하여금等で表し得るもの

ところで, 우인혜(1997:76-90)では, 現代朝鮮語の自動詞と受身形の境界あるいは他動詞と使役形の境界が意味論的に曖昧であることを多くの辞書を基に指摘している. しかしながら, 本稿では, 現代朝鮮語の自動詞と受身形そして他動詞と使役形の意味論的な違いを議論するつもりはないので, 現代朝鮮語のこれらの定義は菅野裕臣他編(1991²:1032-1033)において示された形態論的な方法に従うことにする.

10) 菅野裕臣他編(1991²)においてヴォイス接尾辞を取り得る用言は, 196個ある. この用言のうち, 以下の用言は考察の対象から除外することにする. 까다(孵す)-깨다(孵る), 깨우다(孵化させる), 끊다(絶つ)-끊이다(絶える), 끊기다(絶たれる), 끼다(はめる)-끼우다(はめる), 끼이다(はまる), 돌다(回る)-돌리다(回す), 돌이키다(振り返る), 돋다(出る)-돋구다(高める), 돋우다(高くする), 맞다(合う)-맞추다(合わせる), 맞히다(当てる), 먹다(食べる)-먹이다(食べさせる), 먹히다(食べられる), 벌다(開く)-벌리다(開ける), 벌이다(繰り広げる), 쓰다(かぶる)-쓰이다(かぶられる), 씩우다(かぶらせる)という用言は考察の対象から除外する. というのは, 1つの用言に異なるヴォイス接尾辞が伴い異なる派生の方向を示しているからである(このうち, 菅野裕臣他編(1991²)では, ‘돋구다’, ‘벌다’の記述がない. 本稿では, ‘돋구다’, ‘벌다’の記述については小学館・金星出版社共同編集(油谷幸利・門脇誠一・松尾勇・高島淑郎編)(1993:527, 839)に従った). また, これらの用言のうちヴォイス接尾辞がつくことで, 1)形容詞, 自動詞が他動詞に派生する

用言(밝다(明るい, 明るくなる)-밝히다(明らかにする), 크다(大きい, 育つ)-키우다(育てる), 늦다(遅い, 遅れる)-늦추다(遅らせる)), 2) 形容詞, 自動詞が他動詞, 使役形に派生する用言(익다(慣れる, 熟する)-익히다(慣らす, 慣れさせる)), 3) 自動詞, 他動詞が自動詞に派生する用言(떨다(震える, 震わす)-떨리다(震える)), 4) 自動詞, 他動詞が他動詞に派生する用言(넘다(過ぎる, 越える)-넘기다(越す)), 5) 自動詞, 他動詞が自動詞, 他動詞に派生する用言(지나다(過ぎる, 通り過ぎる)-지내다(過ごす, 経る))がある. これらの用言も, 無標動詞の形式に2つ以上の意味があり, それにヴォイス接尾辞を伴い2つ以上の異なる派生の方向を示しているため, 考察の対象から除外する. それ故, 表1にもこれらの用言のペアは含まれていない.

11) 잡다(つかまえる)の場合, その受身形(つかまえられる)は動詞語幹(잡-) + ヴォイス接尾辞(-히-)の잡히다という形, 動詞語幹 + ヴォイス接尾辞 + 分析的な形(III + 지다)の잡혀지다という形, 動詞語幹 + 分析的な形の잡아지다という形の3つがある. それぞれ同じ語彙的意味を表す受身形であるものの, 形が異なるため, 何らかの文法的意味は異なるものと考えられる. 本論文では, この意味の相違を取り扱わないことにする.

12) Klaiman(1991:119)では, この図はDixon(1979:85)において最初に示されたものであるとしている. しかしながら Croft(1990)や Whaley(1997)では, この図はDixon(1979:85)において見出されたものであるが, Silverstein(1976)において最初に記述されたものであるとしている.

13) 先行研究として本稿で取り上げた Klaiman(1991)の概観は浜之上幸・朴敬玉・崔昌玉(2000:452-454)による所が大きい.

14) 母語話者の方(金昌男氏, 1967年, 全羅南道生まれ)から次のような指摘があった.

- ① (7a)と(7b)の例文は文法的であると認められるものの, 그 택시(そのタクシー)よりも이 택시(このタクシー)の方が適当であるという指摘. というのも, 그 택시(そのタクシー)はある談話(discourse)において一度出現したものではないと, そのようにして明言することができないからである.
- ② (7b)において그 택시에(そのタクシーに)よりは그 택시에게(そのタクシーに)の方がいいのではないかという指摘. これは母語話者の思考の中に택시(タクシー)が動くことができるもの, つまり人間や動物と同等のものと見做しているからだと考えられる.

これらは朝鮮語を母語とする人からの経験的な指摘という点で興味深いものである.

15) 本稿で言う有標と無標とは単に動詞がヴォイス接尾辞を伴う形とヴォイス接尾辞を伴わない形を表現するに過ぎない. つまり, 本稿によれば, 쫓다(追う)は無標形式の動詞であり, 쫓기다(追われる)は有標形式の動詞である. これ以降の議論でも特別な場合を除き, ヴォイス接尾辞を伴う形, ヴォイス接尾辞を伴わない形に言及する時, 単に動詞の有標形あるいは有標形, 動詞の無標形あるいは無標形として, 議論を進めることにする.

16) 角田太作(1991:165-224)において言及されているように, 意味論的役割における動作主, 格における主格, 情報構造における主題, 文法機能における主語をそれぞれ区別しなければならない. 本稿では, 様々な意味論的役割があるものの, その中でも動作

の主体と動作の客体のみを使用することにする。これは意味論的役割を多く使用すれば、文法を記述する上で重要な客観性を欠如すると考えるからである。また、本稿では、動作の主体を動作を行うもの、動作の客体を動作を受けるものとして見做し、議論を進めることにする。

17) 亀井孝・河野六郎・千野栄一編(1996:1365)によれば、無生(inanimate)と有生(animate)は、自然界に存在する物には人間をも含めると、生命のある物とない物がある。この生命のあるなしを指し示すとされている。ところで、有情名詞と無情名詞が現代朝鮮語では形態論的に区別されることは菅野裕臣(1995:242)において指摘されている。菅野裕臣(1995:242)では、有情名詞を-에게/-한테, -에게서/-한테서を取りうるもの、無情名詞を-에, -에서を取りうるものとする。本稿では、今後、有生あるいは無生のみならず、これら形態論的特徴を備えた名詞を有情名詞、無情名詞と見做し、議論を進めることにする。

18) 菅野裕臣(1995:237)では、団体名詞を意志動詞を述語とする文の主語(助詞-에서による)となる名詞と規定しており、その例として당(党), 국가(国家), 학교(学校)をあげている。また菅野裕臣(1991²:1040)では、意志動詞を(聞き手に対する命令を表す)命令法、(聞き手に対する勧誘を表す)勧誘法を取りうるものと規定している。

19) 崔昌玉(2001a)では、その動詞のペアとして잡다(敷く)-잡리다(敷かれる), 덮다(覆う)-덮이다(覆われる), 뚫다(開く)-뚫리다(開けられる), 잊다(忘れる)-잊히다(忘れられる)をあげている。Klaiman(1991:172-173)では、잊다(忘れる)-잊히다(忘れられる)を考察し、쫓다(追う), 쫓기다(追われる)とは異なり、動作の主体が有情名詞、動作の客体が無情名詞である有標形の文が成立する理由は、動作の主体が動作の客体に対する制御性が弱いからであるとしている。確かに‘忘れる’という動作はその動作の主体の意志に関わらず起こり得ることもある。しかしながら、本稿では、このような方法論でヴォイス接尾辞による動詞の派生を考察することはしない。というのも、本稿では、この‘忘れる’という動作もある文脈ではその動作の主体の意志に関わり起こり得ることがあるからである。どのような動作が動作の主体が有情名詞で動作の客体が無情名詞である有標形を含む文を成立することができるか、またその動作はどのような特徴を持っているかについては今後の課題である。

20) 現代朝鮮語には、複数を表す文法形態素として-들という接尾辞があるが、現代英語のように絶対的に名詞の複数を表すかと言えば、そうではない。以下のように、聞き手が複数の場合には、名詞以外のものにも自由に付けることができるのである。この点を踏まえて、本稿では、-들은複数を表す文法形態素としては見做さず、議論を進めることにする。

(複数の動作の主体に対して) 많이들 드세요.(たくさんお召し上がりください。)**【作例】**

21) 以下、②類、⑦類を考察した結果を表で示すことにするが、それに属する動詞のペアを示す折、無標形の動詞を代表させて、提示することにする。それらの動詞を提示する折は、日本語訳をつけることはしない。また、その動詞の例と合わせて、そこに含まれる動詞のペアの数も示すことにする。

22) 無標形や有標形がⅠ-는다, Ⅱ-ㄴ다という終止形語尾を伴っていないが、終止形語尾をⅠ-는다, Ⅱ-ㄴ다という終止形語尾に修正し、本稿の例文として使用したものである。

また, 主体や客体が明示されていない場合, これらを前後の文脈から探し出せた場合は, その例文に主体や客体を補って, 提示することにする.

23) それぞれの動詞の無標形と有標形における主体と客体は次のように示す. 括弧の中には, それぞれの主体や客体の日本語訳, 動作の主体と動作の客体に対応する名詞は何か, それぞれは生き物か非生き物かを表示する. 更にそれらの例示の後に, それらの例の出处も示すことにする.

無標形: 主体 [() その例の出处]

有標形: 主体・客体 [()・() その例の出处]

また, それぞれの動詞の無標形と有標形における主体と客体はあくまでも代表的なものである. 例えば, 나다(出る)の場合, その動作の主体として눈물(涙), 웃음(笑い), 분위기(雰囲気)等々も現れる. 更に, 実際の用例には現れないが, 動作の主体に対応する名詞として団体名詞が現れる可能性もあり得る. 本稿では, (例えば, 나다(出る)は動作の主体として生き物と非生き物が現れ, それぞれに対応する名詞は人名詞, 具体名詞, 抽象名詞であるというような)用例に現れた動作の主体と動作の客体のパターンを考察し, 代表的なものだけを列挙しているが, 用例に現れないパターンについては考察できなかった. これについては今後の課題であり, 作例や母語話者の方々からの見解を通じて考察し, 記述する必要があるだろう.

24) ここでは, 菅野裕臣他編(1991²:1033)で言う分離用言は含めずに, 考察している. 菅野裕臣他編(1991²:1033)では, ある種の用言は2つの構成要素の間に格助詞やとりたて助詞が挿入されて, あたかも2単語のように見えるものを分離用言としている. 例えば, 나다(出る)-내다(出す)が使われている分離用言としては화가 나다(腹が立つ)-화를 내다(腹を立てる)等々がある. 以下の考察でも, このような分離用言は考察対象とはしない.

25) 속다(だまされる)の場合, 主体と客体が明示されていることから考えても, 自動詞よりも受身形と考えるのが適当である.

26) 날리다(飛ばせる)の場合, 動作の主体に飛ぶことができるものがきて, 自動の意味を表すこともある. 以下に例を示す.

*가슴마다 번호판이 날린다. (胸ごとに番号プレートが翻る.) 조 93/04/15, 23 面

*색색의 줄무늬 옷이 한창 유행의 중심으로 날리고 있다. (色とりどりの縞模様の服が真っ盛りの流行の中心で翻っている.) 조 93/01/21, 2 面

また, 以下のように風に飛ばされるという受動の意味をも表す.

*바람이 불면 모래가 바람에 날린다. (風が吹けば, 砂が風に飛ばされる.) 한 p. 218

このような点を踏まえて, 날리다 ‘nallita’には, 他動のほかにも自動や受動の意味を認めるのが適当であるだろう.

27) 비치다(照る)の場合, 以下のように他動の意味を表すこともある.

*그는(…省略…)방침을 비치다. (彼は(…省略…)方針をほのめかした.) 조 93/03/28, 6 面

*백악관은(…省略…)뜻을 비치다. (ホワイトハウスは(…省略…)意をほのめかし

た.) 93/04/24, 5面

このような点を踏まえて, 비치다 ‘pichita’ (照る)には自動詞のほかにも他動の意味を認めるのが適当であるだろう.

28) 動作の主体が人であったり, 動物であったりする場合, 마르다は動詞の意味ではなく, 形容詞としてやせることを意味する. この点を踏まえると, ここに含めるよりも後の無標形において動作の主体として非生き物, 有標形において動作の主体として生き物, 動作の客体として非生き物が現れる動詞群に含めるのが適当である.

29) 물리다(譲る)の場合, ‘A가 B에게 C를 물린다.(AがBにCを譲る.)’という与格を伴う動詞であるので, 他の動詞のペアとはその派生状況が異なると言える.

30) 태우다(燃やす)の場合, 以下の文のように불(火)と抱合した形でよく現れる.

* 일본군은 고승당산을 불태웠다고 한다.(日本軍は高僧当山を燃やしたという.) 93/07/13, 14面

31) 새다(明ける)は以下のように他動詞としても使われることがある.

* 또 학기말시험을 치르고 있는 중·고생들이 집에서 공부할 수 없어 인근 독서실에서 밤을 샜다.(また学期末試験を実施している中・高生達が家で勉強できず, 近くの読書室で夜を明かした.) 94/07/14, 31面

このような点を踏まえて, 새다 ‘sayta’ (明ける)には自動のほかにも他動の意味があるとするのが適当であるだろう.

32) 成道炫氏によれば, 아물리다(癒す)を含む文を作ることにはできなくもないが, 限りなく非文法的な文になるとのことである. 今後の課題はこの動詞を含む文が全く存在しないのか, そしてどのような理由からその文が存在しないのかを考察することである.

33) 피다(おこす)は以下のように他動詞としても使われることがある.

* 북한 남자들은 담배를 많이 핀다.(北朝鮮の男たちはたばこを多く吸う.) 94/05/18, 5面

このような点を踏まえて, 피다(おこす)には自動詞のほかにも他動の意味があるとするのが適当であるだろう.

34) 찔리다(刺さる)は以下の例文のように対格を伴い現れる場合もある.

* 그러다가 불과 수주만에 북한이 연료봉들을 급속히 인출해 버리자 무방비상태에서 허를 찔렸다.(そうこうするうちにわずか数週間に北朝鮮が燃料棒を急速に引き出してしまふと, 無防備状態で虚をつかれた.) 94/06/10, 2面

35) 실리다(載る)は以下のように主体が明示される時, 受動の意味で使われる場合がある.

* 이삿짐이 (사람에 의하여) 용달차에 실린다.(引越し荷物が(人によって)小型トラックに載せられる.) 소, p. 1164

この点を踏まえると, 실리다(載る)には自動の意味のほかにも受動の意味も認めるのが適当であるだろう.

36) ここで, ある程度と言ったのは, 次のような理由からである. つまり, 例えば②類の動詞のペアにおけるヴォイス接尾辞の機能を特徴づけても, それぞれの個々の動詞の意味によっては, その特徴づけに合わない動詞のペアもあるからである. 動詞個々の意味によ

って動作の主体や動作の客体に現れるものが多分に異なるのは本稿の考察によって提示された所である。ここで述べているのは、あくまでも典型的な傾向であって、それぞれの類の個々の特徴ではないことに注意されたい。

37)それぞれの数字はそこに含まれる例文の数を表している。また、括弧の中の数字はその数のうち、有標形を含む文がどのくらいあるかを表している。

38)この考えは Shibatani (2006)の考えを多分に反映したものであり、本稿で独自に考え出したものでないことを断っておく。

<<参考文献>>

- 권재일 (1992) 『한국어 통사론』 서울:민음사.
- 기타무라 다다시 (2004) 『한국어 피동 표현 연구』 서울:J&C.
- 김성주 (2003) 『한국어의 사동』 서울:한국문화사.
- 김홍수 (1998) 「피동과 사동」 『문법 연구와 자료』 서울:태학사, 621-664.
- 서울대학교대학원國語研究會編 (1990) 『國語研究 어디까지 왔나』 서울:東亞出版社.
- 서정수 (1996) 『국어문법』 서울:한양대학교출판원.
- 연세대학교 언어정보개발연구원 편 (1998) 『연세 한국어사전』 서울:두산동아.
- 우인혜 (1997) 『우리말 피동 연구』 서울:한국문화사.
- 이상익 (1999) 『국어의 사동·피동구문 연구』 서울:집문당.
- 이정택 (2004) 『현대 국어 피동 연구』 서울:박이정.
- 임홍빈 (1997) 『북한의 문법론 연구』 서울:한국문화사.
- 정희정 (2000) 『한국어 명사 연구』 서울:한국문화사.
- 최경봉 (1998) 『국어 명사의 의미 연구』 서울:태학사.
- 홍재성 편 (1997) 『현대 한국어 동사 구문 사전』 서울:두산동아.
- 亀井孝・河野六郎・千野栄一共編 (1996) 『言語学大辞典 第6卷 [術語編]』東京:三省堂.
- 菅野裕臣 (1981) 『朝鮮語の入門』東京:白水社.
- _____ (1982) 「朝鮮語」 『講座日本語学 10』東京:明治書院, 280-291.
- _____ (1987) 「中級講座 用言(5)一文法範疇(2)一」 『基礎ハングル』第11号 東京:三修社, 60-69.
- _____ (1995) 「朝鮮語語彙のクラスをめぐって」 『朝鮮文化研究』2 東京:東京大学朝鮮文化研究施設, 229-248.
- 菅野裕臣・早川嘉春・志部昭平・浜田耕策・松原孝俊・野間秀樹・塩田今日子・伊藤英人共編, 金周源・徐尚揆・浜之上幸 協力 (1991²;1988) 『コスモス朝和辞典』東京:白水社.
- 小学館・金星出版社共同編集(油谷幸利・門脇誠一・松尾勇・高島淑郎編) (1993) 『朝鮮語辞典』 東京:小学館.
- 崔昌玉 (2001a) 『現代朝鮮語におけるヴォイス接尾辞を取り得る動詞について—主体・客体となる名詞を中心に—』 千葉大学修士論文(未公刊), 千葉:千葉大学.
- _____ (2001b) 「現代朝鮮語におけるヴォイス接尾辞を取り得る動詞について(再考)一

- 主体・客体となる名詞を中心に—」『ユーラシア諸言語の動詞論(1)』千葉:千葉大学, 43-62.
- _____ (2006) 「一般言語学における意味論的役割について」『千葉大学 人文社会科学研究』13 千葉:千葉大学大学院人文社会科学研究所, 27-44.
- 鄭聖汝 (2004) 「韓国語の自動詞とヴォイス—自発と受身の連続性—」『日本語の分析と言語類型—柴谷方良教授還暦記念論文集—』東京:くろしお出版, 319-335.
- 角田太作 (1991) 『世界の言語と日本語』東京:くろしお出版.
- 浜之上幸・朴敬玉・崔昌玉 (2000) 「現代朝鮮語のヴォイスと INVERSE 性について」『平成12年 COE 形成基礎研究費研究成果報告(4)』千葉:神田外語大学, 433-465.
- 早津恵美子 (1995) 「有対他動詞と無対他動詞の違いについて—意味的な特徴を中心に—」『動詞の自他』東京:ひつじ書房, 179-197.
- Cooreman, A. (1982) “Topicality, ergativity and transitivity in narrative discourse :Evidence from Chamorro”, *Studies in Language* 6. 3:343-374.
- Croft, W. (1990) *Typology and Universals*. Cambridge:Cambridge University Press.
- Dixon, R. M. W. (1979) “Ergativity”, *Language* 55. 1:59-138.
- Klaiman, M. H. (1984) “The grammar of doing and undergoing in Korea”, *Language Research* 20. 4:331-43, Seoul:Seoul National University Language Research Institute.
- _____ (1991) *Grammatical Voice*, Cambridge: Cambridge University Press.
- Quirk, R (eds) (1985) *A Comprehensive Grammar of the English Language*, Harlow, Essex:Longman.
- Silverstein, M. (1976) “Hierarchy of features and ergativity.” In R. M. W. Dixon (ed.) (1976) *Grammatical Categories in Australian Languages*. Canberra: Australian institute of Aboriginal studies, 112-171.
- Shibatani, M. (2006) “On the Conceptual Framework for Voice Phenomena”, *Linguistics* 44. 2:217-269.
- Trask, R. L. (1993) *A Dictionary of Grammatical Terms in Linguistics*, London and New York: Routledge.
- Whaley, L. J. (1997) *Introduction to Typology:The Unity and Diversity of Language*. Thousand Oaks, London, New Delhi:Sage Publications.

현대조선어의 태접미사를 수반할 수 있는 동사에 대하여
-자동사에서 타동사, 타동사에서 자동사로 파생하는 동사류를 중심으로-

최창옥
간다외어대학시간강사

본고의 목적은 菅野裕臣(1982)에서 제시한 태접미사(‘-이-, -히-, -리-, -기-’)가 일으키는 동사의 파생과 관련하여 “1)동작의 주체와 동작의 객체가 어떤 특징을 가지고 있고, 2)동작의 주체와 동작의 객체에 대응되는 명사가 어떤 명사에 속하는가”란 관점에서 고찰하는 데에 있다.

菅野裕臣(1982)에서는 다음과 같이 이 태접미사의 특징을 지적하였다.

*이 접미사를 수반할 수 있는 동사가 한정된다.

*그러한 동사가 이 접미사를 수반하는 경우 그 동사의 의미가 타동사에서 피동형으로 바뀔 뿐만 아니라, 다른 파생관계도 보인다.

본고에서 다루고자 하는 동사류는 태접미사가 동사어근에 결합될 때, 자동사에서 타동사, 타동사에서 자동사로 파생되는 동사류이다. 많은 동사류 중에서 이 동사류를 고찰하는 이유는 모든 동사류에서 태접미사가 동사어근에 결합되기 전에 각각의 동사가 자동의 의미 혹은 타동의 의미를 나타내고 자동과 타동의 의미를 먼저 규정해야 나머지 동사류의 파생관계도 고찰할 수 있고 피동과 사동의 의미도 규정할 수 있다고 생각하기 때문이다.

본고의 방법론은 Klaiman(1991)의 견해에 전면적으로 따르고 있는 것이다. Klaiman(1991)의 견해는 존재론(ontology)과 관련된다. 그 견해를 간단하게 소개하면 타동사문에서는 어떤 동작이 존재론적 현저성(salience)이 높은 주체의 동작에서 존재론적 현저성이 낮은 객체의 동작으로 이행한다. 한편, 피동문에서는 그 동작의 이행이 역전된다. 그 때, 동사 어근에 태접미사가 결합된다는 것이다. 그 견해는 어디까지나 타동사에서 피동형으로 파생되는 동사류에만 적용될 수 있는 것이다. 본고에서는 다른 동사류에 그 견해를 적용하고자 한다.

본고에서 Klaiman(1991)에서 지적한 방법론을 사용해 태접미사의 동사 파생을 고찰한 결과, 자동사문에서는 동작의 주체로서 생물이나 무생물 둘다 나타나지만 그 동작 자체는 주체 범위 내에서 완결되는 데 반해, 타동사문에서는 동작의 주체로서 생물이 나타나고 동작의 객체로서 무생물이 나타나는 경우가 가장 많았다. 그러므로 존재론적 현저성이 높은 주체에서 현저성이 낮은 객체로 동작이 이행하는 것이 전형적인 타동사문이라고 말할 수 있다. 아울러 본고에서는 논항 하나를 줄일

뿐만 아니라 전형적인 타동사문을 표시하기 위해서 태접미사가 나타난다는 태접미사의 기능까지도 지적하였다.

본고의 결과를 통해 현대조선어의 태접미사가 일으키는 동사 파생이 동작의 주체와 객체의 유생성(animacy)에 어느 정도 관련된다는 것을 알 수 있었다. 앞으로의 연구에서는 같은 방법론을 사용하여 나머지 동사류를 고찰할 것이다.